

# 資料編



## 1. アンケート調査概要

### ○ 調査の目的

豊中市では、市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活を過ごすことができるように「市民自らが食に関する正しい知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる」ための食育を推進するという目標を掲げ、平成20年（2008年）3月に「豊中市食育推進計画」を策定し、行政をはじめ、家庭、保育所（園）、幼稚園、学校、地域、事業者、団体など様々な関係機関が協働しながら、食育を推進してきたところです。

この「豊中市食育推進計画」の取り組み期間（計画期間）は平成24年度（2012年度）が最終年度にあたります。そこで、今回、市民を対象に、食生活や生活習慣などに対する意識などを把握し、今後の食育推進に役立てることを目的としてアンケート調査を実施しました。

### ○ 調査対象及び調査方法

調査対象・調査期間・調査方法は下記の通りです。

| 調査種別              | 調査対象  | 調査期間                             | 調査方法                          |
|-------------------|---|----------------------------------|-------------------------------|
| 幼年期調査             | 平成23年（2011年）9月21日時点で、就学前の子どもがいる市在住の世帯から2,000件を無作為抽出             | 平成23年（2011年）<br>10月1日～<br>10月17日 | 郵送調査法<br>（郵送による<br>調査票の発送・回収） |
| 少年期調査             | 平成23年（2011年）9月21日時点で、小学校6年生または中学校3年生の子どもがいる市在住の世帯から2,000件を無作為抽出 |                                  |                               |
| 青年期・壮年期・<br>中年期調査 | 平成23年（2011年）9月21日時点で、16歳から64歳の市民から3,000件を無作為抽出                  |                                  |                               |
| 高年期調査             | 平成23年（2011年）9月21日時点で、65歳以上の市民から1,000件を無作為抽出                     |                                  |                               |

\* 豊中市個人情報保護条例に基づき、豊中市情報公開・個人情報保護運営委員会の承認を得て、住民基本台帳および外国人登録原票を利用し抽出しました。

### ○ 有効回答数と回収率

有効回答数と回収率は下記の通りです。

| 調査種別              | 発送数    | 回収数    | うち無効票  | 有効回答数  | 有効回収率 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 幼年期調査             | 2,000件 | 1,125件 | -      | 1,125件 | 56.3% |
| 少年期調査             | 2,000件 | 868件   | -      | 868件   | 43.4% |
| 青年期・壮年期・<br>中年期調査 | 3,000件 | 992件   | 4件（白紙） | 988件   | 32.9% |
| 高年期調査             | 1,000件 | 587件   | -      | 587件   | 58.7% |

## ○ 調査内容

| 調査種別          |  |
|---------------|--|
| 幼年期調査         | 【保護者】<br>・食育と豊中市食育推進計画について<br>【子どもについて】<br>・生活リズム、食事について<br>・お口の健康について                                     |
| 少年期調査         | 【保護者】<br>・食育と豊中市食育推進計画について<br>・ふだんの食生活や子どもの食事について<br>【児童・生徒】<br>・食育について<br>・生活リズム、食事とおやつについて<br>・お口の健康について |
| 青年期・壮年期・中年期調査 | ・生活リズム、食事、外食について<br>・食育、豊中市食育推進計画について<br>・お口の健康について  |
| 高年期調査         | ・生活リズム、食事、外食について<br>・食育、豊中市食育推進計画について<br>・介護予防について<br>・お口の健康について   |

## 2. 豊中市食育推進協議会要綱

### (設置)

第1条 食育基本法（平成17年法律第63号）第18条の規定に基づき、策定した「豊中市食育推進計画」（以下「食育推進計画」という。）の進行管理や評価について意見交換等を行うことを目的に、豊中市食育推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

### (組織)

第2条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 教育並びに保育、介護その他の社会福祉、医療及び保健に関する関係機関及び関係団体の代表
- (2) 農業者及び農業に関する団体の代表
- (3) 食品の製造、加工、流通、販売又は食事の提供を行う事業者及びその組織する団体の代表
- (4) 子どもの保護者の代表
- (5) 地域における食育の推進に関する専門的知識を有する者
- (6) 消費生活の安定及び向上等のための活動を行う民間の団体の代表
- (7) 食生活の改善のための活動その他の食育の推進に関する活動に携わるボランティアの代表
- (8) 市民

3 前項第8号に規定する者は、公募により2名を選考するものとする。ただし、応募がなかったときその他やむを得ない理由があるときは、この限りでない。

### (委員の任期)

第3条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は前条第2項第8号の委員を除き、再任されることができる。

3 市長は、特別の事情があると認める場合は、第1項の規定にかかわらず、委員を解嘱することができる。

### (会長及び副会長)

第4条 協議会に、会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定める。

3 副会長は、会長が委員の中から指名する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 協議会は、市長が招集し開催する。

### (関係者の出席等)

第6条 会長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、健康福祉部保健所保健企画課において処理する。

附 則

- 1 この要綱は、平成19年(2007年)6月1日から実施する。
- 2 この要綱の実施後最初に招集される協議会並びに会長及び副会長に事故がある場合その他会長の職務を行うものがない場合における協議会の招集及び会長が決定されるまでの協議会の議長は、市長が行う。

附 則

- 1 この要綱は、平成20年(2008年)6月1日から実施する。

附 則

- 1 この要綱は、平成21年(2009年)4月1日から実施する。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年(2012年)4月1日から実施する。

## 豊中市食育推進協議会委員名簿

(敬称略、区分毎五十音順)

平成 24 年 (2012 年) 6 月 1 日現在

| 区分 | 氏名     | 団体名等                | 役職名等        |
|----|--------|---------------------|-------------|
| ①  | 白石 龍生  | 大阪教育大学教員養成課程        | 教授          |
|    | 多門 隆子  | 相愛大学人間発達学部発達栄養学科    | 教授          |
| ②  | 青木 和男  | 豊中市私立幼稚園連合会         | 副会長         |
|    | 江口 新   | 連合大阪北大阪地域協議会豊中地区協議会 | 事務局長        |
|    | 上辻 浩夫  | 豊中市医師会              | 会長          |
|    | 後藤 眞一  | 豊中市歯科医師会            | 会長          |
|    | 鈴木 貴雄  | 豊中市立小学校長会           | 豊中市立寺内小学校校長 |
|    | 友国 富夫  | 豊中市民間保育園連合会         | 副会長         |
|    | 林 直人   | 豊中市立中学校長会           | 豊中市立第七中学校校長 |
|    | 古川 克巳  | 豊中市老人クラブ連合会         | 会長          |
|    | 森川 幸次  | 豊中市薬剤師会             | 副会長         |
| ③  | 上田 正次  | 豊中市農業経営者協議会         | 会長          |
| ④  | 小早川 謙一 | 豊中商工会議所             | 専務理事        |
| ⑤  | 三浦 祥子  | 豊中市 P T A 連合協議会     | 副会長兼会計      |
| ⑥  | 谷口 佳以子 | とよなか消費者協会           | 会長          |
| ⑦  | 杉田 尋子  | 豊中市地域活動栄養士会トゥディ     | 会長          |
|    | 高島 邦子  | とよなか市民環境会議アジェンダ 2 1 | 理事          |
|    | 永井 敏輝  | 豊中市健康づくり推進員会        | 会長          |
| ⑧  | 泉 恵美   |                     | 市民公募委員      |
|    | 肥後 美佳  |                     | 市民公募委員      |

### 区分

- ①地域における食育の推進に関する専門的知識を有する者（学識経験者）
- ②教育並びに保育、介護その他の社会福祉、医療及び保健に関する関係機関及び関係団体の代表
- ③農業者及び農業に関する団体の代表
- ④食品の製造、加工、流通、販売又は食事の提供を行う事業者及びその組織する団体の代表
- ⑤保護者の代表
- ⑥消費生活の安定及び向上等のための活動を行う民間の団体の代表
- ⑦食生活の改善のための活動その他の食育の推進に関する活動に携わるボランティアの代表
- ⑧市民

### 3. 豊中市食育推進計画連絡会議要綱

#### (設置)

第1条 「豊中市食育推進計画」の進行管理を行い、食育の推進を効果的に行うため、豊中市食育推進計画連絡会議(以下「連絡会議」という。)を設置する。

#### (所掌事務)

第2条 推進会議は次の各号に掲げる事務を所掌する。

- (1) 計画に係る基本方針に関すること。
- (2) 計画に係る施策の推進調整に関すること。
- (3) 計画に係る調査、研究に関すること。
- (4) その他計画の推進に必要な事項。

#### (組織)

第3条 連絡会議は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

- 2 連絡会議の委員長は健康福祉部長、副委員長は健康福祉部保健所長をもって充てる。
- 3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

#### (会議)

第4条 連絡会議は、委員長が必要と認めたとときに招集する。

#### (実務担当者会議)

第5条 連絡会議に必要な、調査、研究及び検討を行わせるため、実務担当者会議を設置することができる。

- 2 実務担当者会議は、別表2に掲げる課、室及び機関に所属する者の中から、所属長の推薦を受けた者をもって充てる。
- 3 実務担当者会議は、必要に応じて委員長が招集する。
- 4 実務担当者会議に部会を設けることができる。

#### (関係者の出席等)

第6条 委員長は、必要と認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

#### (事務局)

第7条 連絡会議及び実務担当者会議の事務局は、健康福祉部保健所保健企画課が行う。

#### (補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、連絡会議の運営等に関し必要な事項は、委員長が定める。

#### 附 則

この要綱は、平成19年5月1日から実施する。

#### 附 則

この要綱は、平成20年4月1日から実施する。



附 則

この要綱は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から実施する。

別表 1

|               |  |
|---------------|--|
| 委員長           | 健康福祉部長   |
| 副委員長          | 保健所長   |
| 人権文化部         | 人権政策室長   |
| 政策企画部         | 広報広聴課長   |
| 環境部           | 公園みどり推進課長<br>減量推進課長  |
| 市民協働部         | 消費生活課長<br>地域経済課長   |
| 健康福祉部         | 地域福祉室長<br>障害福祉課長<br>高齢者支援課長<br>衛生管理課長<br>保健予防課長<br>地域保健課長      |
| こども未来部        | 保育幼稚園室長  |
| 市立豊中病院        | 栄養管理部長   |
| 教育<br>委員<br>会 | 学校給食室長   |
|               | 教育推進部<br>教育推進室長  |
|               | 生涯学習推進部<br>地域教育振興室長<br>読書振興課長<br>中央公民館長<br>スポーツ振興課長<br>青少年育成課長 |
| 農業委員会         | 事務局長   |

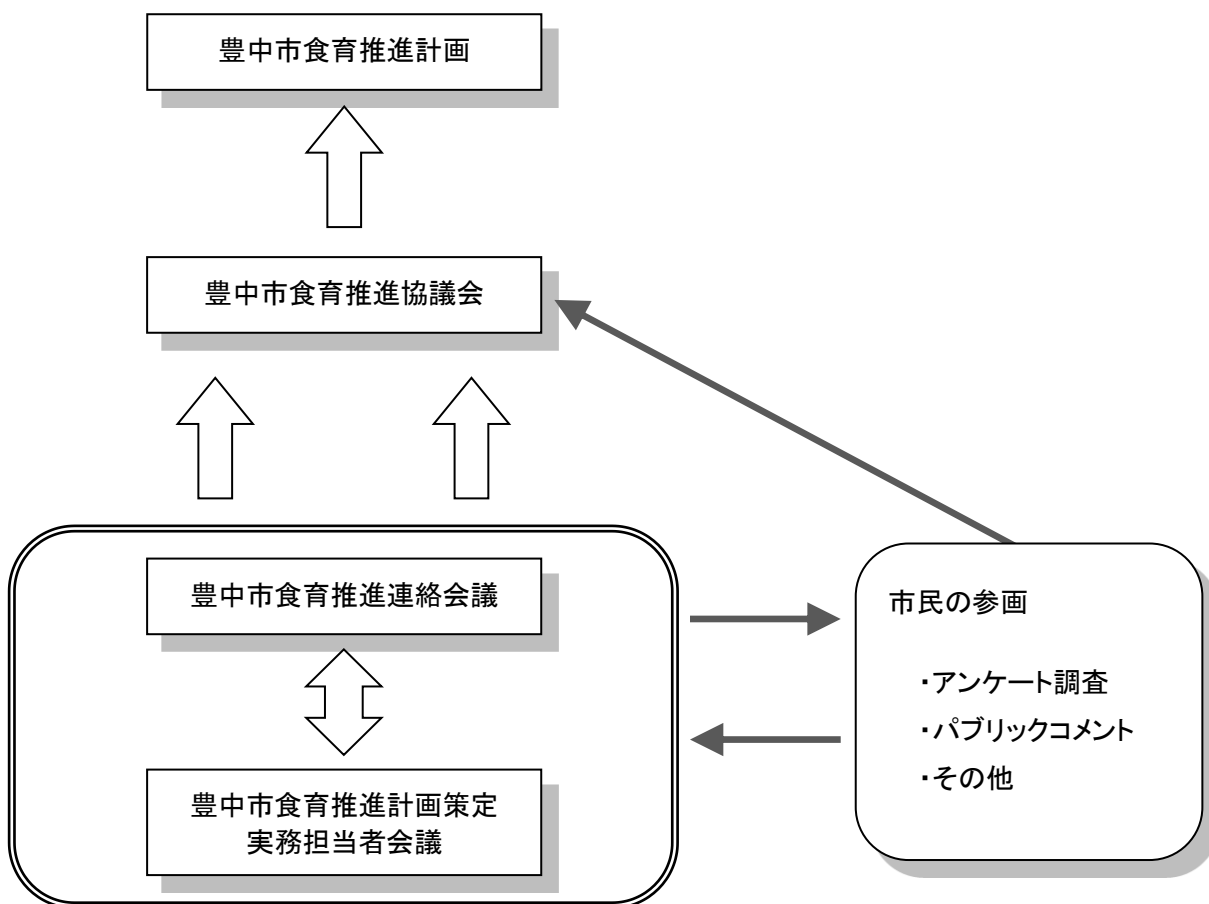
別表 2

|                       |   |  |
|-----------------------|---|--|
| 人権文化部                 | 人権政策室   |  |
| 環境部                   | 公園みどり推進課<br>減量推進課                                   |  |
| 市民協働部                 | 消費生活課<br>地域経済課                                      |  |
| 健康福祉部                 | 地域福祉室<br>障害福祉課<br>高齢者支援課<br>衛生管理課<br>保健予防課<br>地域保健課 |  |
| こども未来部                | 保育幼稚園室  |  |
| 市立豊中病院                | 栄養管理部   |  |
| 教<br>育<br>委<br>員<br>会 | 学校給食室   |  |
|                       | 教育推進部   | 教育推進室  |
|                       | 生涯学習推進部   | 地域教育振興室<br>読書振興課<br>中央公民館<br>スポーツ振興課<br>青少年育成課 |
| 農業委員会事務局              |   |  |
| (社福) 豊中市社会福祉協議会       |   |  |

#### 4. 計画の策定体制

計画策定にあたっては、統計資料や既存資料、「食育」に関する取り組み（庁内）の進捗状況、市民の「食」に関する意識などを把握するためのアンケート調査、庁内調査などの分析を実施しました。

これらをふまえて、学識経験者や関係団体の代表などからなる「豊中市食育推進協議会」において内容の検討などを行いました。



**【今後の方向性 凡例】**  
 ◎ → 充実(今後さらに積極的に取り組む予定)  
 ○ → 継続(今後も同様に取り組む予定)  
 △ → 縮小(規模などを縮小して取り組む予定)  
 - → 廃止(終了する取組み)  
 完 → 完了(単年度事業、期間の決まっている取組みで完了するもの)

## 5. 取り組み実績

### I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

#### a. 食に関する知識の普及・啓発や情報提供

| 事業等 |   | 所管                 | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高齢期 | 内容  | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の方向性 |
|-----|---|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|---|--------|
| 1   | 行 | 広報とよなか             |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 月1回発行。全世帯と全事業所に配布しています。市の各種施策や事業計画、福祉、環境、文化・スポーツなど市民に必要な情報を提供しています。                       | 年間発行部数 2,270,052部<br>うち食育関連お知らせ記事 41件               | 継続掲載を行い、市民へ食育・関連事業の啓発普及を行った。  | ○      |
| 2   | 行 | ケーブルテレビ番組「かたらいプラザ」 |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 市広報番組「かたらいプラザ」を企画・制作し、ケーブルテレビで放送しています。  | 年間番組制作数 52件<br>うち食育関連の放送 2件                         | 継続紹介を行い、市民へ食育・関連事業の啓発普及を行った。  | ○      |
| 3   | 行 | 市民公益活動推進のための情報提供   |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | (運営は、公募により市民公益活動団体に委託)「市民活動情報サロン」(豊中駅舎内)にて、市民の自主的・自発的な社会貢献活動(市民公益活動)に関する情報提供や相談等を実施しています。 | 市民活動情報サロン来場者数 5,794人<br>登録団体数 108団体                 | 「食育」をはじめ、さまざまな分野の市民公益活動への関心を高め、活動のきっかけづくりや市民団体どうしのつながりづくりにつながっています。 | ○      |
| 4   | 行 | 市民公益活動推進助成金        |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 分野を問わず、公募し、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成。市民公益活動団体の自律的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。      | 助成金交付団体数 12団体<br>助成金交付額 1,876千円                     | 「食育」をはじめ、さまざまな分野の市民公益活動団体が、助成金を活用し、段階的に自立発展しています。                   | ○      |
| 5   | 行 | 技術・家庭科副読本「くらしのノート」 |     |     |     | ●   |     |     |     |     | 消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用を推進しています。豊中市食育推進計画に関する記述あり。                       | 市内在学の小学5年生、中学1年生に配布<br>小学生版 4,400部<br>中学生版 4,400部発行 | 食に関する情報を伝えることができました。  | ○      |
| 6   | 行 | 生活関連物資課題調査         |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | (とよなか消費者協会に委託)食料品、日用品等の生活関連物資について、年3回テーマを決め市場調査を行っています。                                   | 年3回実施<br>調査内容「マーガリンの品質表示などの調査」「玉ねぎの鮮度調査」等           | 調査結果を情報発信し、食に関する情報を伝えることができました。                                     | △      |
| 7   | 行 | くらしの情報             |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。  | A4判8頁、3,000部発行/回<br>点字版B5判両面20枚、11部発行/回 各年4回        | 食に関する情報を伝えることができました。  | ○      |

| 事業等 |   | 所管           | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価                                  | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|--------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|---|------------|
| 8   | 行 | くらしかんのホームページ |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 平成14年度に生活情報関連システム(くらしネット)を大幅に見直し、くらしかんホームページ(くらしネット)により、消費生活情報を提供しています。   | 平成20年度より市ホームページの一部に入り形式がリニューアルしましたが、引き続き消費生活情報を提供しました。  | 食に関する情報を伝えることができました。                      | ○          |
| 9   | 行 | くらしかん祭り      |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ①消費者問題等を楽しく学んでもらうことを目的に毎年統一テーマを決め、様々な催しをくらしかん全体で行う消費者啓発イベントを開催しています。<br>②平成10年度からくらしかん登録グループとともに実行委員会体制で企画運営をしています。 | 協力団体24団体(くらしかん登録グループを除く)参加者数1,083人を除く)  | 食に関するブースを設けているので、食育を推進することができました。         | ○          |
| 10  | 行 | 子どもの消費者教育講座  |     |         |             | ●           |             |             |             |             | 小学生対象の消費者問題啓発講座の中で食に関する講座を実施しています。  | 2回実施。2回とも食育の推進を図った。①調理実習「おいしいナンを作ろう」参加者19人②食品表示関係講座「食品の色で実験～お菓子の毛糸を染めてみよう～」参加者32人(親子)                         | 小学生を対象に調理実習や体験型学習を通じて、食育を推進することができました。    | △          |
| 11  | 行 | くらしの教員セミナー   |     |         |             |             | ●           | ●           | ●           |             | 小中学校技術家庭科教員対象の消費者問題啓発講座(年2~3回)を実施しています。   | 「小学生向け消費者問題について考える」、「マヨネーズ工場見学」「ものづくりの現場見学」の3回実施。   | 小中学校の教員向けに、学校における消費者教育を推進することができました。      | ○          |
| 12  | 行 | 消費者啓発講座      |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ①消費生活セミナー：消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事：消費者月間の5月に内閣府の統一テーマに沿って行う啓発事業として食に関する講座を開催しています。③学校向けに啓発講座を開催している                  | ①消費生活セミナー：4回(内2回食育関係講座)、「知っておきたい食品選び」「本当に大丈夫？食の安全」 ②消費者月間行事1回 ③学校における啓発事業96回(1クラス1回でカウント)3,208人(内食育関係23回789人) | 食生活全般に関する講座を実施し、食育を推進することができました。          | △          |
| 13  | 行 | くらしの研究発表会    |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | くらしに関する問題について、調査・研究をしている消費者グループなどに発表の機会の提供を毎年行っています。  | 発表団体は5グループ、くらしから提案!2011を発行  | 食に関するテーマを扱った発表も過去にあり、食に関する情報を伝えることができました。 | ○          |

| 事業等 |   | 所管                          | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|-----------------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|--|--|------------|
| 14  | 行 | 生活情報ひろば事業（市民啓発業務等）          |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | （とよなか消費者協会に委託）平成18年8月に制定した「豊中市の消費者のくらしを守る条例」に基づいて開設した「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。                            | パネル展 3回「食育の取り組み」他<br>地産地消イベント 12回<br>講座 15回「お魚さんが教える魚料理教室」「元気な食卓」等 | くらしかん登録グループの特色を生かした食に関する講座やパネル展示を実施し、食育を推進することができました。  | ○          |
| 15  | 行 | 消費者活動の支援                    |     |         |             |             | ●           | ●           | ●           | ●           | 消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業（リユースバザー・くらしかん祭り・講座等）を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の3か月前から6か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。 | 登録グループ11団体   | くらしかん登録グループの特色を生かした食に関する講座やパネル展示を実施し、食育を推進することができました。  | ○          |
| 16  | 行 | ふくしねっと とよなか                 |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 豊中市の福祉や健康に関する行政サービス情報をはじめ、ボランティアなどの地域福祉活動情報、介護保険や福祉関連の民間事業者情報などを市のホームページに掲載しています。  | リクエスト総 1,450,016<br>訪問数 302,079<br>訪問者数 113,790                    | 訪問数は増加の傾向にあるので、市民の需要は多くなっていると思われる。   | ○          |
| 17  | 行 | 市立障害者通所施設等での給食の献立表と給食だよりの配布 |     |         |             |             | ●           | ●           | ●           |             | 栄養士による食育に関する情報を掲載しています。  | 毎月1回   | 利用者や家族から食育に関する情報や料理のレシピがわかりやすいとの意見をいただきました。  | ○          |
| 18  | 行 | 食育情報ハンドブックの発行               |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 生涯を通じた食育の実践を目的としたハンドブックを発行しました。  | 22年度で完了  | 生活に取り入れやすい献立や情報をたくさん掲載することにより子育て中の世代から高齢者までに活用していただきました。                                       | 完          |
| 19  | 行 | ホームページ「健康食生活応援」             |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成18年6月に立ち上げ、生活習慣病予防のためのメニューの提供等を行っています。  | 食育に関する講座等のご案内を随時行いました。   | 食に関する講座の案内などを更新して情報提供の場として活用しました。また、食育に関する冊子などについても公開していたので、ホームページを見た食育に関心を持つ市民からの問い合わせもありました。 | ○          |
| 20  | 行 | 「食事バランスガイド」の啓発              |     | ●       | ●           |             |             | ●           | ●           | ●           | 食育講座などにより食事バランスガイドの啓発を行っています。  | 随時実施   | 「食事バランスガイド」を参考に食生活を行う人の増加に貢献しました。  | ○          |

| 事業等 |   |                | 所管     | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23 年度実施状況                               | 5 年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|----------------|--------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|---|------------|
| 21  | 行 | 情報誌等の発行        | 保育幼稚園室 |     | ●       | ●           |             |             |             |             |             | 妊娠がわかってから就学前までの子育て情報を掲載した「子育てサービスガイド」、公立保育所・民間保育園・子育て支援センターの情報を掲載した子育てマップ”てくてく”を発行し、離乳食講座・食の講座の情報を提供しています。  | 年1回 「サービスガイド」を更新して配布<br>子育てマップ「てくてく」の発行 | 25000 部   | ○          |
| 22  | 行 | 子育て支援ホームページの充実 | 保育幼稚園室 |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しています。   | ホームページにおいて各支援センター月の予定・館外事業の予定など毎月更新     | 平成 21 年度より携帯サイトの更新を毎月実施   | ○          |
| 23  | 行 | 子育て支援センターほっぺ事業 | 保育幼稚園室 |     |         | ●           |             |             |             |             |             | ①地域子育て支援センターを統括する中核施設として、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育て情報の発信や相談、子育て講座(手づくりおやつ講座)、地域の子育て支援する人材の育成等を行い、さまざまな子育て支援活動をサポートしています。<br>②地域福祉計画の保健・福祉・医療の関係機関と連携して全市的な子育て支援のネットワークづくりを進めています。 | 育ちの講座(1・2・3歳)年 各2～4回                    | 育ちの講座に参加される親の悩みに、好き嫌が多い、食べ過ぎる、食べない、など食に関することが数多く出されます。参加者同士で意見交換を行い、わが子に適した方法を模索しつつ、不安の軽減の場となっています。 | ○          |
| 24  | 行 | 地域子育て支援センター事業  | 保育幼稚園室 |     |         | ●           |             |             |             |             |             | ①6ヶ所の地域の子育て拠点施設として、子育て相談、情報提供、子育てサークルの育成、遊びや交流の場の提供等を行っています。<br>②地域支援保育士とともに、「地域福祉ネットワーク会議子ども部会」を運営、住民や関係機関・団体との連携のもと地域の子育てネットワークづくりに取り組んでいます。                                  | 地域子育て支援センター食育講座開催 各1～2回                 | 保育所内に配置されたセンターは、保育所の機能を活用した食育の講座が開催できるため、参考になったという利用者の声をいただきます。                                     | ○          |



| 事業等 |   | 所管  | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|---|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|--|---|------------|
| 25  | 行 | 関連資料提供、読書振興                                   |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ①食育に関する図書や資料・情報の収集と提供・相談を行っています。<br>②食育への関心を深めていくため関連資料の展示などを行っています。 | 平成22年度より、テーマ別に資料や情報を検索するための手順をまとめた、豊中市立図書館パスファインダー「検索ナビ」を作成しており、現在12種類と特別編が1種類作成されています。テーマの一つとして『食育・食の安全』もとっています。豊中市内の全図書館で配布しています。この「検索ナビ」は、豊中市立図書館ホームページからご覧いただけます。また、蛍池図書館では「お弁当の本」庄内図書館では「食べ物の絵本」岡町図書館では「食と安心」の展示を行いました。 | 図書館らしい切り口で食育推進を目指して来ました。展示やおはなし会は図書館では、おなじみの行事ですが、食育の視点からアレンジすると、図書館利用者にとって、いつもとは違った新鮮さがあるようです。 | ○          |
| 26  | 教 | 食に関する情報発信「簡単おいしいクッキング」「びよびよ(離乳食の進め方)」「食育だより」等 |     |         | ●           |             |             |             |             |             | レシピや食べ物に関する情報などを通じて、保護者に食育の重要性を伝えています。                               | 随時配布<br>献立表の中に記載食材紹介や季節の行事などを知らせています。  | 保育所・園で実施しているメニューは親しみやすく簡単に作れるレシピ等は好評です。   | ○          |
| 27  | 教 | 保護者向けに発行する通信                                  |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 栄養士等による食育に関する記事を掲載しています。   | 園だより等年6回配布   | 保護者も食に関心を持つようになりました。  | ○          |
| 28  | 教 | 給食の献立表等の保護者への配布                               |     |         | ●           | ●           |             |             |             |             | 毎月給食予定献立表を配布。  | 月1回配布（アレルギーの園児に別メニュー配布）  | 献立を伝えることで家庭での食事にも役立つ。児童及び保護者の食物アレルギーの対応にも活用しています。   | ○          |
|     |   | 学校給食室   |     |         |             | ●           |             |             |             |             | 毎月給食予定献立表を配布。  | 月1回約20,000枚×11ヶ月分配布  | 献立を伝えることで家庭での食事にも役立つ。児童及び保護者の食物アレルギーの対応にも活用しています。   | ○          |

| 事業等 |   |                      | 所管                    | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|----------------------|-----------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|---|---|------------|
| 29  | 教 | 保育所地域活動事業            | 各保育所、豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園 |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 所庭開放、誕生会、発育測定、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。   | 地域の子育て家庭対象に所庭開放（毎日）。誕生会・発育測定（月1回）。保育所行事に参加案内、世代交流随時、講座、サークル活動の定期的実施（毎月） | 安心して遊べる場所であり、情報交換や相談等で継続して来られる方が多く地域に果たす役割は大きいです。                     | ◎          |
| 30  | 教 | 教室向け給食だより「もぐもぐ」、栄養メモ | 学校給食室                 |     |         |             | ●           |             |             |             |             | 毎月、教室掲示用に低学年、高学年別に給食だより「もぐもぐ」、献立カレンダー、栄養・食品に関する一口メモを発行しています。   | 月1回各クラス1枚ずつ配布、1口メモは4～5種類配布  | 献立を通して、栄養に関する知識や食育情報の提供の場として実施していきます。                                 | ○          |
| 31  | 教 | お弁当づくりの冊子            | 学校給食室                 |     |         |             | ●           |             |             |             |             | お弁当づくりの冊子を6年生児童に配布しています。   | 6年生児童数約4,000部配布   | 児童が中学入学後、自分でお弁当を作ることができるように、食育推進計画を反映し充実した内容で実施していきます。                | ○          |
| 32  | 地 | 子育てサロン               | 社会福祉協議会               |     |         | ●           | ●           |             |             |             |             | 親の出会いの場・学習・交流の場づくりとして、校区福祉委員会と民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行なっています。   | 531回<br>参加者数 18,039人  | 地域支援保育士・保健師・図書館などの協力もあり、参加者が増加している。                                   | ○          |
| 33  | 地 | ふれあいサロン              | 社会福祉協議会               |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | なかまづくり・健康増進、いきがづくりの場として開催校区福祉委員会民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行なっています。   | 967回<br>参加者数 16,389人  | 保健師・地域包括支援センターの協力もあり、地域で定着している。                                       | ○          |
| 34  | 地 | 地域子育て支援事業            | 社会福祉協議会               |     |         | ●           |             |             |             |             |             | ①わいわい子育てミーティングを開催しています。<br>②子育てサークルマップを作成しています。<br>③校区福祉委員会での子育て支援活動（小地域福祉ネットワーク活動）を進めています。  | ①1回 42人参加<br>②5,000部発行<br>③38校区で開催531回 延べ参加者数 18,039人                   | ①参加者に好評<br>②毎年発行し、問合せも多数きている。<br>③参加者が増加している。                         | ○          |
| 35  | 地 | 健康教室                 | 健康づくり推進員会             |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 健康づくり推進員がその居住する小学校区において、豊中市（地域保健課）と協力して実施する健康教室で、食育や口の健康に関するテーマも取り上げています。校区福祉委員会・公民分館・老人会等と共催したり、講師を市や保健所の専門職員以外に地域住民にお願いしたり、小学校や地区会館で行ったりと、地域に密着して行っています。 | 校区健康教室 47回、1,555人<br>15回 544人   | 毎月行われる校区代表者会の中で、随時、食育に関連するテーマを勉強会として取り上げ、食育と健康づくりについて学ぶことができたと考えています。 | ○          |

I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

b. 食育に関する正しい理解の促進

| 事業等 |                  | 所管            | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|------------------|---------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|---|------------|
| 1   | 行 子育て・教育相談       | 豊中人権まちづくりセンター |     |         | ●           | ●           |             |             |             |             | ①子どもに関する相談全般を行っています。<br>②学校、家庭、地域における生活の相談事の解決を支援しています。   | 生活習慣（特に食事）の大切な部分も伝えながら、相談支援を行いました。<br>相談回数 662回<br>相談者数 808人      | 深刻なケースほど、生活習慣面、食生活が乱れてくるため、見直せるような助言等が行える機会は貴重です。   | ○          |
| 2   | 行 福祉なんでも相談窓口     | 地域福祉室         |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | (社会福祉協議会に委託)校区の福祉委員会と民生・児童委員が連携して「福祉なんでも相談」を実施しています。  | 相談件数 376件   | 一定の相談件数があり、身近な相談窓口の役割を果たしている。   | ○          |
| 3   | 行 食生活自己点検票の作成    | 保健予防課         | *   | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 食育に関するイベントや取り組みに、地域の団体でも誰でもが使えるようにのご意見をいただき作成。問いを読んで○を付けることで簡単に食生活の点検ができます。   | 10,000枚作成し、健康づくり推進委員会などの地域での取り組みに活用されました。                         | 新規事業のため1年の取り組みではありますが、地域で活用しているところを見てほかの地域でも活用を始めるなど、広がりを見せています。                            | ○          |
| 4   | 行 母子健康手帳交付時の指導   | 保健予防課         |     | ●       |             |             |             |             |             |             | 母子健康手帳交付時において、食に関する知識の普及や相談に応じています。平成22年度からは3拠点の保健センターでの発行になり、全ての妊婦に専門職で発行しています。  | 母子健康手帳交付数<br>3,759件   | 平成22年度から3拠点の保健センターで、全ての妊婦に専門職で発行し、妊娠中の食事やお口の中のことなどについて伝えていきます。支援の必要な人を早期に発見し支援開始の機会となっています。 | ○          |
| 5   | 行 妊産婦・乳幼児等電話面接相談 | 保健予防課         |     | ●       | ●           |             |             |             |             |             | ①妊産婦・乳幼児の保護者等の電話等による相談に対して、保健師、栄養士、歯科衛生士、助産師等が相談に応じています。(平成22年6月から「妊娠出産子育て総合相談窓口」を開設し、関係機関との連携もはかります)<br>②健診後に育児状況など確認が必要と思われる対象者に対し保健師等から電話による保健指導を行っています。 | 延べ8,794件  | 社会問題化している育児不安や虐待予防の取り組みのひとつとして必要性が高いと評価しています。「妊娠出産子育て総合相談窓口」開設から相談件数が増加しています。               | ◎          |
| 6   | 行 育児相談           | 保健予防課         |     |         | ●           |             |             |             |             |             | ①各健診や電話相談などで相談を希望したり、必要と思われる対象者に案内し、3会場で1～2回/月ずつ実施。保健師・栄養士・保育士が相談に応じます。<br>②地域の校区福祉委員会や保育所などと連携した地区育児相談を実施しています。  | ①育児相談 開催回数 50回<br>参加者数延べ322人<br>②地区育児相談 開催回数<br>138回 参加者数 延べ 835人 | 子育て環境の変化に伴う育児不安や孤立化する親子の増加が考えられる中で、育児に係る相談の場が必要とされています。                                     | ○          |

| 事業等 |                              | 所管    | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|------------------------------|-------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|---|---|------------|
| 7   | 行 妊産婦・乳幼児等訪問指導               | 保健予防課 |     | ●       | ●       |         |         |         |         |         | 必要と認められた人に対し保健師または助産師・栄養士等が家庭訪問を行い、個々の状態に応じた保健指導や必要な援助を行っています。   | 訪問件数 延べ3,677人   | 訪問指導は、乳幼児及びその保護者のみならず家族全体の援助も可能となり、家庭の状況にあわせた家族全体の健康に寄与することができます。       | ◎          |
| 8   | 行 4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診時の保健指導 | 保健予防課 |     |         | ●       |         |         |         |         |         | ①4か月児健診では、第1子に対して離乳食などについて集団指導を実施しています。また、栄養士や保健師などによる個別の相談や保健指導も行なっています。②1歳6か月児健診及び3歳6か月児健診では、栄養士や保健師などが相談や保健指導を行っています。 | ①4か月児健康診査 開催回数 48回 受診者数 3,440人<br>②1歳6か月健康診査 開催回数 48回 受診者数 3,395人<br>3歳6か月健康診査 開催回数 30回 受診者数 3,099人 | 健診では疾患や障害の早期発見、育児支援の必要な人を支援につないでいます。また情報提供を行なう場であり、食育推進のために活用できる場と考えます。 | ○          |
| 9   | 行 健康相談                       | 地域保健課 |     |         |         |         |         | ●       | ●       | ●       | 生活習慣病予防・介護予防・歯・栄養・心など健康に関する相談に電話や面接で応じています。①面接相談（糖尿病、病態別食生活、歯科、リハビリ相談など）②電話相談  | 健康相談 3225回 延4691人 うち面接相談 156回 延156人、電話相談 2896人 延2896人   | 健康に関する内容から食への関心の高さが伺えます。  | ○          |
| 10  | 行 骨粗しょう症検査時の保健指導             | 地域保健課 |     |         |         |         | ●       | ●       | ●       | ●       | 18歳以上の女性を対象に、骨密度測定（集団検診）を行っています。<br>○超音波によるかかとの測定  | 骨密度測定 1006人   | 受診率に大きな変化はありませんでした。   | ○          |
| 11  | 行 訪問指導                       | 地域保健課 |     |         |         |         |         | ●       | ●       | ●       | 保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・栄養士が家庭を訪問し、介護や療養方法、健康管理に必要な事項を指導しています。   | 訪問 実152人 延205人  | 専門職による訪問指導で対象に合った指導ができました。食に関する問題は常に付随しています。                            | ○          |
| 12  | 行 特定健診                       | 地域保健課 |     |         |         |         |         | ●       | ●       | ●       | 平成20年度より医療保険者に、被保険者及び被扶養者（いずれも40歳～74歳）を対象とする健診・保健指導の実施が義務付けされました。  | 個別15,649人、<br>集団2,571人、<br>人間ドック2,345人（受診率27.0%）  | 健診の受診によりメタボリックシンドロームの発見などを図ってきました。                                      | ◎          |
| 13  | 行 特定保健指導                     | 地域保健課 |     |         |         |         | ●       | ●       | ●       | ●       | 特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその予備群と判定した人に対して、生活習慣を振り返り、その改善につなげるための特定保健指導を実施しています。   | 動機づけ支援321人、積極的支援67人、計388人（受講率18.1%）   | メタボリックシンドロームの解消や予防のための指導を行ないました。  | ◎          |
| 14  | 行 骨密度測定時の保健指導                | 保険給付課 |     |         |         |         | ●       | ●       | ●       | ●       | 健康展参加市民を対象に、市民が自己の健康管理をするための支援として骨密度測定及び保健師による指導を実施しています。  | 開催回数1回<br>参加者数193人  | 市民が自己の健康管理をするための支援ができています。  | ○          |

| 事業等 |   | 所管             | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|----------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|---|--|------------|
| 15  | 行 | 人間ドック受診時の保健指導  |     |         |         |         |         | ●       | ●       | ●       | 人間ドック受診対象者(20年度より30歳以上74歳以下)に対し、医療機関が個別指導を実施しています。   | 人間ドック 1,416人、脳ドック 100人<br>セット(人間ドック+脳ドック) 1,101人  | 医療機関が個別指導をすることによって疾病の予防、健康管理をするための支援ができています。   | ○          |
| 16  | 行 | 放課後子どもクラブでの指導  |     |         |         | ●       |         |         |         |         | 放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の市立小学校の1年生から3年生(支援学級在籍の児童及び本市に居住する支援学校在籍の児童は6年生)までの児童の健全育成をはかっています。             | 放課後子どもクラブの全日開設日の弁当時に、食事マナーや食べ物を大切にせず食べるなどの偏食改善等の指導をおこないました。また、友達と楽しく食べる中、食べ物と身体づくりがつながっていることに気づくよう指導しました。 | 友達と楽しく食べる中、残さず食べることの心地よさを感じ、食べ物と身体づくりがなっていることがわかり、食を話題にする姿も見られました。                               | ○          |
| 17  | 行 | 育児支援家庭訪問事業     |     |         | ●       |         |         |         |         |         | 児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めて行くことが困難な状況にある家庭に対して、家庭に訪問し育児に関する相談や助言等の支援を行っています。                             | 平成23年度育児支援家庭訪問回数 97回  | 個々への相談・助言等を行い、地域へ踏み出すきっかけづくりとして、関係機関との連携を図りながら、必要な支援に結びつけています。                                   | ○          |
| 18  | 行 | 子育て支援センターの相談事業 |     |         | ●       |         |         |         |         |         | 育児、食育、健康などについての相談指導(電話、面接、訪問、出前相談)を子育て支援センター・地域支援保育士が行っています。   | 平成23年度<br>ほっぺ相談件数 2,116件<br>地域子育て支援センター相談件数 15,583件   | 相談窓口の周知を図るため、平成20年からスタートしたこにちは赤ちゃん訪問等で情報を提供しています。電話・ふれあい相談に加え、地域に出向いての出前相談の活用も増え、不安の軽減につながっています。 | ○          |
| 19  | 行 | こにちは赤ちゃん事業     |     |         | ●       |         |         |         |         |         | 生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、授乳状況など親子の心身の状況の把握、および助言を行う。また、子育てに関する情報提供を行う。                                   | 平成23年度<br>訪問対象者数 3,557人   | 対象者への情報提供により、あそび場のお知らせができ、月齢の小さな子どもを連れての子育て支援センターの利用が増えています。                                     | ○          |
| 20  | 行 | 個人栄養食事指導事業     |     | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | 医師の指示による、疾病別の個人栄養食事指導を行っています。  | 指導人数 1543人  | 多職種の連携をより深め、個々の患者さんに即した栄養指導をするようにしてきた。   | ○          |
| 21  | 行 | ふれあい看護での相談事業等  |     | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ①看護の日イベントを行っています。<br>②栄養管理部では各種生活習慣病の食事による予防及び治療についてのパネル展示、骨密度測定・血糖測定・体脂肪測定後の異常値が出た方への無料栄養相談などを行っています。 | 開催回数 1回。相談人数 23人  | その年度ごとの啓蒙テーマにあわせて、食生活の講義を行ったたり、劇に参加したり、食事の大切さを体感していただいた。   | ○          |

| 事業等 |                               | 所管                                      | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|-------------------------------|---|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|--|---|------------|
| 22  | 教<br>幼児教育支援センターでの<br>相談       | 保育幼稚園室、豊<br>中市私立幼稚園<br>連合会加盟幼稚<br>園     |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 教育相談や育児相談を行っています。  | ○大学の先生による心理相<br>談（随時実施）<br>○キンダーカウセリングの<br>先生との相談を行っていま<br>す。<br>○育児相談（随時実施して<br>いましたが、平成23年度を<br>もって廃止） | 気軽に相談してもらって<br>いて、相談件数も増えて<br>きている。   | ○          |
| 23  | 教<br>地域に開かれた幼稚園づく<br>り事業での相談等 | 保育幼稚園室・豊<br>中市私立幼稚園<br>連合会加盟幼稚<br>園     |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 私立幼稚園における「子育て支援事業」（育<br>児・教育相談など）を実施しています。   | ○随時実施<br>○大学院と連携をもち育<br>児・発達相談を地域対象に<br>実施<br>○園庭開放や親子ふれあい<br>体操、七夕飾り、土曜日の<br>預り保育等子育て支援を実<br>施          | ○園庭開放などの際に子育<br>てや子どものことなどをお話<br>する機会が増えました。<br>○在園児のみならず未就園児<br>等の相談も増えてきました。<br>○食に関すること以外でも発<br>育など相談を受けた。 | ◎          |
| 24  | 教<br>育児相談・就学前相談               | 保育幼稚園室・市<br>立幼稚園・豊中市<br>私立幼稚園連合<br>会加盟園 |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 公立幼稚園を会場に、地域の子育て中の保<br>護者を対象にした専門家による相談事業を<br>実施しています。   | 随時実施<br>学園自己開発研究所の臨床<br>心理士が対応   | 幼稚園においては、食育につ<br>いての相談よりも心身の発達<br>やしつけ・進学に向けての相<br>談が多くなってきています。  | ○          |
| 25  | 教<br>ふれあい子育て相談                | 各保育所・あゆみ<br>学園・豊中市私立<br>幼稚園連合会加<br>盟園   |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 子育てに関する電話相談と来所（園）によ<br>る相談を行っています。   | 随時対応<br>キンダーカウセリング巡<br>回指導員による育児相談や<br>未就園児来園日に電話よる<br>相談実施相談  | 各々の状況に合わせたアドバ<br>イスにより育児不安が軽減さ<br>れている。   | ○          |
| 26  | 地<br>電話・面接健康相談                | 一般財団法人豊<br>中市医療保健セ<br>ンター               |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 電話もしくは面接で、健康に関する相談に<br>対応しています。相談の対応は、医師会・<br>歯科医師会及び薬剤師会の会員が行い、食<br>育や口の健康に関する内容も相談できま<br>す。<br>市民健康展会場での相談では、栄養相談の<br>窓口も設けています。 | 8科目健康相談 実施回数<br>5回 相談件数64件<br>14科目健康相談（健康展<br>時実施）実施回数1回 相<br>談件数132件、うち栄養相<br>談件数2件                     | 幅広い年齢層、相談内容に応<br>えており評価に値する。  | ◎          |

I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

c. 危機管理に対する情報提供と啓発

| 事業等 |   |                  | 所管       | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高齢期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価 | 今後の方向性 |
|-----|---|------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|-----------|----------|--------|
| 1   | 行 | 食中毒予防街頭キャンペーン    | 保健所衛生管理課 | *   |     |     |     | ●   | ●   | ●   | ●   | 食品等事業者や消費者団体と協力し、食中毒多発シーズンを前に街頭キャンペーンを実施し、広く市民に食中毒への注意喚起を行っています。 | 大阪府保健所が実施 |          | ◎      |
| 2   | 行 | 小学1年生向けリーフレットの配付 | 保健所衛生管理課 | *   |     |     | ●   |     |     |     |     | 食中毒予防の3原則の周知と、食肉の生食を避け、十分加熱して食べるよう啓発を行っています。                     | 大阪府保健所が実施 |          | ◎      |

I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

d. 食育推進運動の周知啓発

| 事業等 |   |                 | 所管             | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高齢期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の方向性 |
|-----|---|-----------------|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|---|---|--------|
| 1   | 行 | 食の育みフォーラム       | 保健企画課          |     |     |     |     | ●   |     |     | ●   | 食育推進計画の周知のため、市民に身近なテーマでフォーラムを開催しています。                              | 23年度は教育委員会と共催し、基調講演「サザエさんの食卓から食育を考える」、パネルディスカッション「食育体験あんなことこんなことから子どもと楽しむわくわく食育」、ロビー展示（蛸池小学校児童作品「よい歯を作る575」、とよっぴーについてなど）、工作・自由研究コーナー（永久歯列模型作成など）、学校給食の一品試食会などを行いました。参加者 成人153人、子ども62人 | 食育の目標からテーマを選び、年ごとにライフステージに応じた内容でフォーラムを開催、食育に関係する部署、団体、機関とも共催し連携して行ったことは評価に値すると考えています。 | ◎      |
| 2   | 行 | 「食育月間」「食育の日」の啓発 | 保健企画課<br>保健予防課 |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 毎年6月を食育月間、毎月19日を食育の日として啓発を行っています。                                  | 随時実施  | 市民の啓発に一定の効果があり、継続の必要性があります。   | ○      |
| 3   | 行 | 食育コラボ～みんなでは・は・は | 読書振興課・図書館      | *   |     | ●   |     |     |     |     |     | 歯科衛生士によるお話と図書館職員によるおはなし会を行います。関連の本や絵本の貸出も行い、お口の健康に関する個別相談の時間も設けます。 | 平成24年度新規に実施   | 平成24年度新規に実施。まずは実施して反響を見守りたい。  | ○      |

| 事業等 |                           | 所管                         | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---------------------------|----------------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|--|--|------------|
| 4   | 行 体育の日の事業                 | スポーツ振興課                    |     |         | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 体育の日の事業による健康啓発等の実施をしています。   | 簡単な体力測定、健康測定（骨密度測定など）、特定検診などの実施。参加者617人  | こどもから大人まで参加できる事業展開ができており、事業全体の広がりを見せています。  | ○          |
| 5   | 教 メニューコンテスト               | 教育推進室<br>保健企画課             |     |         |             | ●           |             |             |             |             | 保健所と共催で、小学5・6年生からメニューを募集してコンテストを行い、入賞作品メニューを市の小学校給食献立や地域の飲食店・給食施設でのメニューとして活用しています。                    | 「野菜たっぷりランチメニュー」をテーマに夏休みに実施し、10月には体育の日イベントで表彰式と入賞作品ポスター展示を行いました。（応募児童2996人、入賞12人）                   | 毎年夏休みに実施し、多くの応募があります。また、入賞作品の学校給食採用、給食だより等での紹介により、学校関係者・保護者認知されるようになってきており、学校、家庭における食育が推進できたと考えています。 | ◎          |
| 6   | 教 学校における「食に関する指導の全体計画」の策定 | 教育推進室                      |     |         |             | ●           |             |             |             |             | ①各校の定める「食に関する指導の全体計画」に基づき指導します。<br>②「食に関する指導の手引き」を活用した指導、教科・領域などにおける食に関する指導、給食時間における食に関する指導などを進めています。 | ①各校の定める食育の年間指導計画に基づき指導しました。<br>②「食に関する指導の手引き」を活用した指導、教科・領域などにおける食に関する指導、給食時間における食に関する指導などを進めてきました。 | 各校の食育の推進の充実に向けて取り組みを進めています。  | ○          |
| 7   | 教 食育目標の作成                 | 保育幼稚園室                     |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 「豊中市食育推進計画」「改定保育所保育指針」を踏まえた豊中市立保育所の食育目標を作成。   | 豊中市保育所の食育目標を基に、各保育所・園の実際に即した目標を作成。   | 食育目標を作成することで見通しをもって活動することができます。  | ○          |
| 8   | 教 キッズフェスタ                 | 保育幼稚園室<br>豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園 |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 親子の触れ合いや遊びの場の提供、幼児教育情報の発信の中で「食」に関する情報の提供をします。   | 参加者数2387人  | 市民に定着したくさんの来場者がありました。食育ということでの発信については、もう少し視点を置いて取り組む必要があります。   | ○          |
| 9   | 教 子育て総合支援事業「子育て・子育て支援講座」  | 保育幼稚園室、市立幼稚園、              |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 専門講師による講演や親子ふれあい遊びなどの実技を通してつながりを広げています。   | ①子育て支援として親子ふれあい体操を年4～5回（園により異なる）開いています。<br>②講師による親子ふれあい遊びなどを行う。                                    | 各園、食育をテーマにした講座を取り入れ実施し、保護者と共に子どもの健康について考える機会をもっている。  | ○          |



| 事業等 |   |                    | 所管                                   | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|--------------------|--------------------------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|--|--|------------|
| 10  | 教 | 在園児及び未就園児の保護者向け講演会 | 豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園<br>豊中市民間保育園連合会加盟保育園 |     |         | ●           |             |             |             |             |             | ○幼児期の食についての講座を開催しています。<br>○給食の試食を行い、その中で、栄養士・教諭が給食の意義・給食で行う指導について説明しています。 | ○給食試食会で栄養士さんの説明があり、意見交換をしてより良い時にするよう努力しています。<br>○在園児の保護者を対象に給食試食会を行っています。<br>○給食試食会で栄養士が講演 | 食への考え方や栄養の基礎知識などを効果的に伝えることができています。講演会を継続的にできればと思っています。   | ○          |
| 11  | 教 | バザー                | 豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園                     |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 産地直送の野菜コーナーを設けています。   | 年1回実施  | P T Aの積極的な参加により、地産地消や野菜の安全について理解の一助になっています。  | ○          |
| 12  | 教 | 「食育年間計画」の策定        | 市立幼稚園、豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園               |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 幼稚園教育で「食育の年間指導計画」に基づき指導します。   | 園の実際に即した計画を策定  | 幼稚園においては、幼児の健康と安全を保護者と共に十分配慮するように努め、園児には適切な食生活の習慣をつけていくことの大切さを伝えている。また、栽培や調理活動を通し、食への関心をもつように取り組みをすすめました。<br>取組みは年齢別に食育計画を立て実施しています。 | ○          |
| 13  | 地 | 市民健康づくりフォーラム       | 健康づくり推進員会                            |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 健康づくり推進員及び一般市民を対象に健康に関する情報を伝える講演会を開催しています。                                | 1回 146人  | 健康づくりに関するテーマを毎年選りフォーラムを開催、食育に係る部署とも積極的に連携できたと考えています。   | ○          |

## II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

### a. 幼年期における望ましい食習慣の形成

| 事業等 |                           | 所管                     | 新規* | 妊<br>娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|---------------------------|------------------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|--|---|------------|
| 1   | 行 離乳食講習会                  | 保健予防課                  |     |             | ●           |             |             |             |             |             | 離乳食に関する知識・情報の提供<br>○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター<br>○回数 前期（ごっくんクラス）・後期（かみかみクラス） 年24回ずつ実施。   | ごっくんクラス 実施回数 24回 参加者数 778人<br>かみかみクラス 実施回数 24回 参加者数 726人 | 離乳食に関する知識や情報を提供するとともに、保健センターが食に関する相談窓口であることをPRすることができました。                   | ○          |
| 2   | 行 幼児食講座                   | 保健予防課                  |     |             | ●           |             |             |             |             |             | 幼児食に関する知識・情報の提供<br>○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター  | 実施回数 23回<br>参加者数 145人                                    | 幼年期だけでなく生涯を通じた食生活について啓発する場として、実施することができました。                                 | ○          |
| 3   | 行 「親と子の遊びのひろば」<br>パンダグループ | 保育幼稚園室                 |     |             | ●           |             |             |             |             |             | ①2,3歳の子どもとその保護者を対象に、人権を尊重した保育を基本に遊び提供・情報提供を行っています。その中で、保護者同士が子育ての楽しさを実感し、悩みを出し合う場をもち、保育所とともに地域の中でつながっていける子育て支援をしています。<br>②パンダグループの中で、大勢の子どもとともに保育所の給食経験を行うことで食事の楽しさを味わっています。 | 各地域子育て支援センターで年3クール程度実施                                   | 家では食べないというメニューも、友達と一緒にだと食べたり、他の親の声かけから学びあうこともあり、食を知る良い機会になっています。            | ◎          |
| 4   | 行 子育てに関する講座等の開催           | 保育幼稚園室                 |     |             | ●           |             |             |             |             |             | 子育て支援センターでは親子・同年齢の子どもと一緒におやつを作り、作る楽しさを実感し、家庭でも親子のふれあう機会として知らせる「おやつ講座」を行っています。また、「センター講座」では子どもの育ちや健康・食育・かかわり方について等の話を提供することで、保護者にとっての育児不安の軽減や子育てに関する情報を得る機会としています。            | ほっぺのおやつ講座開催<br>年2回                                       | おやつ講座は、親子が言葉をかけあいながら、食材にふれ、調理用具にふれ作り出す過程と、出来上がった時の喜びを実感し、食への興味を持つ機会となっています。 | ○          |
| 5   | 行 ほのぼのママ教室                | 市立豊中病院栄養管理部            |     | ●           |             |             |             |             |             |             | ほのぼのママ教室の3回シリーズの内1回で「食事バランスガイド」による妊娠中の食品摂取の目安及び、鉄分・カルシウムの不足予防などの理解を深めています。   | 開催回数 11回。参加人数 73名  | 新しい情報提供と楽しく見やすいテキストへ改正、個人の食生活の評価ができる内容、質問が特に多い内容を講義に取り入れた。                  | ○          |
| 6   | 教 親子の学び場講座                | 保育幼稚園室<br>(幼児教育支援センター) |     |             | ●           |             |             |             |             |             | 料理・リトミック・音楽・スポーツチャンバラなど多様なジャンルの専門講師による遊びの提供や講演会などを実施しています  | 親子でクッキング<br>食育講座1回実施（実施は平成23年度のみ）                        | とても好評で、家庭でも興味を持ち積極的に手伝えることが増えたようです。   | ○          |

| 事業等 |   |           | 所管   | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性  |
|-----|---|-----------|--|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|--|---|
| 7   | 教 | 給食・弁当時の指導 | 各保育所・園、幼稚園、小学校、あゆみ学園・しいの実学園、豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園 |     |         | ●           |             |             |             |             |             | ①食前食後の食事への感謝を指導しています。<br>②食べ物を大事にし、残さず食べることを指導しています。<br>③食事マナーを指導しています。<br>④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導しています。<br>⑤献立に使われた食材について話題にしています。 | 毎日実施<br>バランスのとれた食生活やたのしく食事ができるように工夫しています。<br>食事前の手洗い、うがい実施・歯磨きなどの衛生指導をしています。<br>配膳の準備等の手伝いを実施   | 食べ物と身体づくりが繋がっていることや自分の食べる量もわかっている。<br>仲間と共に楽しく食べ、残さずきれいに食べた時の心地よさを感じることができ、食べ物に興味を持ち、折にふれ季節の食べ物について話をするなど食を話題にする姿がみられました。<br>偏食が減り食事のマナーが身についています。<br>管理栄養士と相談しながらアレルギー対応を含め地道に行っています。 | ◎   |
| 8   | 教 | 給食        | 各保育所・園、小学校、あゆみ学園・しいの実学園                      |     |         | ●           | ●           |             |             |             |             | ①こどもが、おいしく、安全に、楽しく食事をするので、心身両面の発育を促して（保障して）います。<br>②季節の行事食を提供しています。<br>③給食の配膳を児童・生徒が自ら行うようにしています。                                   | ●お味見当番●自分でおにぎり●調理に関わる（野菜の皮むき・すじ取り・ごますり・和え物を仕上げる・おやつ作り etc）●食材を見る・触る●厨房の見学等  | 食材に触れたり、給食作りに関わり調理の過程を知ること<br>で食材や調理をしてくれた人に親しみが深まり給食に期待感をもってより積極的に食べるようになりました。食べ物に興味をもち「食」を話題にする姿がみられました。   | ◎   |
|     |   |           | 豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園                             |     |         |             |             |             |             |             |             |   | ①和食中心のメニューを多くしています。<br>②食材そのものの美味しさを知るようシンプルな調理も取り入れています。<br>③希望する園児が、16時のおやつづくりに参加しています。<br>④日常の給食に保護者が参加できる機会を設けています。<br>⑤給食を委託する業者を検討するための試食会に保護者も参加できるようにしています。 | ○給食をおいしく楽しく食べられるよう子どもたちが様々な取組みを行った。<br>○当番制での食事の配膳、下膳を自ら行う。<br>○子どもの年齢にあった献立。多くの食材や調理法、家庭で少なくなった日本の伝統食、季節行事食も提供しています。<br>○栄養士によりバランスのとれたメニューとアレルギー対応食を工夫してもらったりした。                     | ○和・洋・中華のバラエティに富んだメニューを通して野菜ぎらいの子が減少してきた。<br>○バランスの取れたメニューになるよう今後も工夫が必要であったが、給食の時間が楽しい時間の1つとなっている。<br>○年に1度の試食は保護者の意見も聞くことができ好評。 |

| 事業等 |                             | 所管                          | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|-----------------------------|-----------------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|---|--|------------|
| 9   | 教 集会時の指導                    | 豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園            |     |         | ●           |             |             |             |             |             | ①朝食をゆっくり食べてから登園するよう指導しています。<br>②嫌いなものでも一口食べるよう指導しています。 | 随時実施  | ①嫌いなものでも一口は食べるようにしていくと食べられるものが増えました。<br>②各クラスで担任より話をしています。           | ○          |
| 10  | 教 給食の試食と、給食に関する講演会          | 豊中市市立幼稚園連合会加盟幼稚園            |     |         | ●           | ●           |             | ●           |             |             | 保護者による給食の試食と、栄養士などによる講演会を開催しています。                      | 年1回給食試食会を実施<br>栄養士より説明があり、意見交換をし、よりよい物にするよう努力した。  | 試食会での意見交換で得た情報を参考にして改善しています。味付けの濃さなど調節出来てよかった。                       | ○          |
| 11  | 教 保育、教育の中で、調理体験、イベントなどの取り組み | 各保育所・園、幼稚園、小学校、あゆみ学園、しいの実学園 |     |         | ●           | ●           |             |             |             |             | ①栄養素について学んでいます。<br>②調理実習を体験しています。                      | 給食づくりに関わったり菜園活動の収穫物によるクッキングなど年間を通じて随時実施。魚の解体見学後に給食で食べる等。  | 偏食の矯正。食べ物の命を感じて大切にいただく気持ちが育まれました。共に経験・共感し仲間関係が深まり自信につながりました。         | ○          |
|     |                             | 豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園            |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 季節の果物や野菜について学んでいます（講師：生産地の農協関係者）。                      | ○保護者会主催のイベントで食育についての催しを行った。<br>○年間を通して給食の食材に触れたり、下処理をする等の活動<br>○学年別に献立を考慮し、家よりの持ち寄り食材で調理を体験 持ちよりの食材が入っていることで、楽しく喜んで食した。 | ○親子参加だったので親子で食に興味を持つきっかけになった。<br>○栄養等について知らせることで嫌いなものも食べようとするようになった。 | 完もあるが○もある  |
| 12  | 教 「食」に関する子育て講座              | 保育所、豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園        |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 保育所給食をもとに、幼児食や手作りおやつ、食事の話などの講習を行なっています。                | 地域の子育て家庭対象各所1～2回開催。1回 20～30組<br>野菜を使ったおやつや昼食づくりを実施 キッズの子どもクッキング   | 保育所給食の実際を基に行なうので理解されやすい。   | ○          |
| 13  | 教 赤ちゃんサークル「ぴよぴよ」での離乳食講座     | 保育所                         |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 保育所給食をもとに、離乳食の講習を行なっています。                              | 地域の子育て家庭対象各所1～2回開催。1回 10～20組  | 保育所給食の実際を基に行なうので理解されやすい。   | ○          |

## II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

### b. 少年・青年期における食の自立に向けた支援

| 事業等 |   | 所管                        | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高年期 | 内容  | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価   | 今後の方向性 |
|-----|---|---------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|--|--|--------|
| 1   | 行 | 市立障害者通所施設等での給食提供時の指導      |     |     |     |     | ●   | ●   | ●   |     | 栄養バランスのとれた食事づくりに心がけると共に、保健センターからの歯科保健指導を参考に、個々人の障害に応じた食形態にも配慮しています。   | 毎日実施   | 利用者及び家族は毎日の給食を通じて栄養バランスのとれた食事や、食べやすくする工夫を実感することができると共に食事摂取量が改善されました。 | ○      |
| 2   | 行 | 市立障害者通所施設等での給食提供時における情報提供 |     |     |     |     | ●   | ●   | ●   |     | 専門職員が個々の利用者の障害に応じた食事介助工夫をすると共に、その内容を家族に情報提供することで、摂取する食材や食事を楽しむことができる場面の多様化を促しています。                                  | 毎日実施   | 家庭と施設の連携で個々の利用者の障害に応じたより良い対応を実施し、食を通じた健康づくり、楽しみづくりを実現しています。          | ○      |
| 3   | 行 | 市立障害者通所施設等での給食の提供         |     |     |     |     | ●   | ●   | ●   |     | ①おいしく、安全に、仲間と楽しく食事をする場を提供しています。<br>②季節の行事食を提供しています。   | 毎日実施   | 仲間と共に季節感のある食事をとることで、心豊かな生活ができていていると考えられます。                           | ○      |
| 4   | 行 | 市立障害者通所施設等での調理体験          |     |     |     |     | ●   | ●   | ●   |     | 通所者が調理実習を体験しています。   | 収穫体験での収穫物によるクッキングなど、年間を通じて随時実施。                              | 実際に調理に関わることで食に関心を持つことができてきました。                                       | ○      |
| 5   | 行 | 文化活動 文化クラブ「クッキング」「手芸&料理」  |     |     |     | ●   |     |     |     |     | 提案公募型委託事業として特定非営利団体北摂こども文化協会に事業委託。市内在住の児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りおやつや食事の話などの講習及び調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。 | 「クッキング」実施回数 28回 延べ参加者数 328人。<br>「手芸&料理」実施回数 30回 延べ参加者数 358人。 | 料理に関する企画については、安定した市民ニーズがあり、多くの児童生徒が当クラブ活動を介して「食」についての関心を高めることができました。 | -      |
| 6   | 教 | 一年生給食開始事前指導               |     |     |     | ●   |     |     |     |     | 新1年生の給食開始前に児童の給食への関心を高めるため、学校給食を担当する栄養士・調理員が訪問を行っている学校もあります。  | 小学校 5校で実施  | 望ましい食生活習慣の形成と正しい栄養に関する知識の普及と学校給食への理解を深めるため実施していきます。                  | ○      |
| 7   | 教 | 給食の試食と、給食に関する講演会          |     |     |     | ●   | ●   |     |     |     | 保護者による給食の試食と、栄養教諭などによる講演会を開催しています。  | 小学校 38校で実施   | 食への関心を高めることと学校給食への理解を深めることを目的に、実施していきます。                             | ○      |
| 8   | 教 | 学校給食週間                    |     |     |     | ●   |     |     |     |     | 「全国学校給食週間」と定められた1月24日～30日に、各地の郷土料理や世界の料理などを取り入れた特別の献立を出すことにより、改めて食に感謝する気持ちや食の大切さを考える取組みを行っています。                     | 全小学校 41校で実施  | 学校給食の意義や役割について児童生徒や教職員、保護者、地域住民の理解と関心を深めるため実施していきます。                 | ○      |

| 事業等 |   | 所管                                    | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|---------------------------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|---|------------|
| 9   | 教 | 児童の社会見学の受け入れ                          |     |         |             | ●           |             |             |             |             | 学校調理員、栄養士との交流を深め、給食ができるまでを見学することで関心を高めています。   | 3校が見学   | 給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施していきます。  | ○          |
| 10  | 教 | 小・中学校における指導体制の充実                      |     |         |             | ●           |             |             |             |             | 順次配置されている栄養教諭などを中心に食育を推進するとともに、教職員を対象にした食育に関する研修会を開催するなど食育の重要性に対する教職員の意識を高め、理解を深めるよう取り組みます。 | 栄養教諭などを中心に食育を推進するとともに、シンポジウムの共催開催、教職員を対象にした食育に関する研修会を開催するなど食育の重要性に対する教職員の意識を高め、理解を深めるよう取り組んできました。 | 食育の推進に大変重要な役割を担っています。今後もさらに指導体制の充実に向けて取り組みを進めていきます。                           | ○          |
| 11  | 教 | (仮称)豊中市新学校給食センターの整備(原田・服部学校給食センターの建替) |     |         |             | ●           |             |             |             |             | 食物アレルギーなどの児童への対応食をはじめ、安全でおいしい給食を提供し、食育を推進するための学校給食に関する情報を発信する機能を備えた(仮称)新学校給食センターの整備をめざす。    | 新学校給食センターの発注方式の検討を行いました。また、用地を取得しました。   | 現在の学校給食衛生管理基準に適應するとともに、食育やアレルギー対応など最新の給食センターとして安心・安全な学校給食を実施するため建替の検討をすすめました。 | ◎          |

## II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

### c. 健康状態にあった食育の推進

| 事業等 |                           | 所管     | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---------------------------|--------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|--|--|------------|
| 1   | 行<br>グループホーム・ケアホームからの栄養相談 | 障害福祉課  |     |         |             |             | ●           | ●           | ●           | ●           | 障害者が共同生活を行う住居での食生活に関する相談にのっています。  | 毎日実施   | 個々の民間事業所では、スタッフに管理栄養士を加えることは難しいので、市の専門職が支援しています。                                 | ○          |
| 2   | 行<br>介護予防教室               | 高齢者支援課 |     |         |             |             |             |             |             | ●           | 二次予防対象者（要支援・要介護状態等となるおそれの高い、虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者）を対象に「運動器の機能向上」「口腔機能向上」「認知症予防・支援」等の介護予防教室の開催しています。 | いきいき元気教室（介護予防教室）で高齢期における低栄養改善の講話・食に関するアドバイス等を実施しています。<br>運動教室：17クール 259人、お口元気教室：12クール 131人、脳力アップ塾：4クール 38人 | 高齢者向けの低栄養予防の講話を実施し、口腔機能の維持を行ったり健やかな高齢期を過ごせるように食に関するアドバイスも実施し、総合的な介護予防に取り組んでいます。  | ○          |
| 3   | 行<br>アレルギー講演会             | 保健予防課  |     |         | ●           | ●           | ●           | ●           |             |             | 専門医師がぜん息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患について講話を行なっています。また必要に応じ保健指導を行っています。                                       | 開催回数 3回<br>参加者数 延べ73人  | ぜん息やアトピー性皮膚炎などアレルギーについての正しい知識普及に寄与している事業です。アレルギーは食生活とも関係します。偶数年度には指導者研修を行なっています。 | ○          |
| 4   | 行<br>妊婦教室「フレンドリーコース」      | 保健予防課  |     | ●       |             |             |             |             |             |             | 3拠点の保健センターにて1コース2回実施。育児のイメージ作りや先輩ママとの交流などを目的に保健師・助産師が従事しています。                                       | 30コース60回開催<br>参加者数 実530人、延べ1,022人  | 妊娠・育児の基礎知識を普及する場になっています。   | ○          |
| 5   | 行<br>お父さんのための子育て教室        | 保健予防課  |     | ●       |             |             |             |             |             |             | 初妊婦とそのパートナーを対象に、沐浴実習、妊婦体験、各種サービスの紹介等を行っています。隔月に1回。土曜日の午前・午後に実施しています。（大阪府助産師会に委託、男女共同参画推進センターと共催で実施） | 12回実施。参加者471組、延べ946人   | 初産婦とそのパートナーを対象に妊娠・育児の基礎知識を普及する場になっています。  | ○          |
| 6   | 行<br>カンガルークラス             | 保健予防課  |     | ●       |             |             |             |             |             |             | 栄養士による、妊娠期からの食生活・栄養についての講話。毎月1回開催しています。   | 実施回数 12回、参加者数106人  | 妊娠期だけでなく生涯を通じた食生活について啓発する場として、実施することができました。                                      | ○          |

| 事業等 |   | 所管                                | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高年期 | 内容   | 23年度実施状況                                       | 5年間の総合評価   | 今後の方向性 |
|-----|---|-----------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|--------|
| 7   | 行 | メタボ撃退お料理教室                        |     |     |     |     |     | ●   | ●   | ●   | メタボリックシンドロームなど生活習慣病予防に焦点をあてた調理実習。  | 1回 4人  | 簡単に作れるメニューだったり、メニューコンテストの入賞作品を献立に採用するなど、豊中らしさも取り入れたので好評でした。                                  | ○      |
| 8   | 行 | 地区健康教室・介護教室(出前健康教室)               |     |     |     |     |     | ●   | ●   | ●   | 健康に関するご希望のテーマを保健師、栄養士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士等が地域の会場に出向き、講演します。  | 健康教育803回 延8509人                                | 生活習慣病などをテーマとした健康教育を行ないました。食に関する情報を発信する場として、広く活用しています。  | ○      |
| 9   | 行 | 「無理しないカラダづくり講座」                   |     |     |     |     |     | ●   | ●   | ●   | メタボリックシンドロームなど生活習慣病予防に焦点をあてた栄養・運動についての気軽に楽しい体験学習。(特定保健指導の場としても活用)  | 4会場で39回実施<br>参加者数450人                          | メタボリックシンドロームに焦点を当てました。広報などでも案内し、広く関心のある市民からの参加もありました。  | ◎      |
| 10  | 行 | 生活習慣改善講座(面接型・通信型)                 |     |     |     |     |     | ●   | ●   | ●   | 血液検査などの検査データと、生活習慣調査票から個人の課題を抽出し、各人にあった目標を決め、実践できるよう支援する講座を開催しています。期間は2か月間。<br>①「面接型」：カラダづくり講座1回・個別面接3回・運動教室3回(希望者)。<br>②「通信型」：データの分析・課題についてはインターネットを利用し、福岡大学のサポートシステムを活用して抽出し、この結果に基づいて受講者に対して郵送等のやり取りにより指導しています。<br>(特定保健指導の場としても活用) | ①面接型 267回<br>参加者延数283人<br>②通信型 12回<br>参加者延数12人 | 個別の指導により、生活習慣病の改善・予防を行ないました。特定保健指導の場にもなっています。参加者自らが行動変容できるように支援しました。                         | ◎      |
| 11  | 行 | 創造活動(適応指導教室)プログラム「クッキング」          |     |     |     | ●   |     |     |     |     | 不登校児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使っての調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。  | 庄内館は第1・3・5水曜、千里館は第1・3金曜に実施                     | 不登校の児童生徒にとって重要な人間関係を「クッキング」というツールを介して繋いでいくことから不可欠なプログラムとなっています。学校復帰の足がかりにもなっており、一定の成果を上げました。 | ○      |
| 12  | 行 | 寄り添い型学習・生活支援事業 生活自立支援プログラム「クッキング」 | *   |     |     | ●   | ●   |     |     |     | 不登校状況や、ひきこもり状況にある中3～高校年齢相当の若者を対象に、専門講師が手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使っての調理など、食を営む基礎を育てています。   | 庄内館にて日曜日(月1回)に実施                               | 平成23年度からの事業ですが、学習支援と並行して、生きていく力を身につけていく意味で有効なプログラムとなっています。                                   | ○      |



| 事業等 |   |   | 所管                               | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|---|----------------------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|--|--|------------|
| 13  | 行 | 公民分館活動への支援                              | 中央公民館<br>蛭池公民館<br>庄内公民館<br>千里公民館 |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 公民分館による春秋講座運営に際して、情報提供や指導助言を行っている。  | 体にやさしい家庭料理<br>2回 延べ32人<br>玄米と野菜の話<br>3回 延べ75人<br>世界の家庭料理<br>2回 延べ10人 | 市民が自発的に食育に取り組み、実践することで食育の必要性を感じていただけたと思われます。   | ○          |
| 14  | 行 | 糖尿病教室                                   | 市立豊中病院栄養管理部                      |     |         |             | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 糖尿病教室の7回シリーズの内2回で「糖尿病食事療法：基礎編」「糖尿病食事療法：応用編」を開催しています。  | 開催回数 50回。参加人数 304名   | 各職種同士の糖尿病療養指導内容を共有しあうホームページの立ち上げ準備が整い、職員同士の連携を固め更に患者さんに幅広い知識で深く関わる事ができた。   | ○          |
| 15  | 行 | 慢性腎臓病教室                                 | 市立豊中病院栄養管理部                      |     |         |             | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 慢性腎臓病教室の4回シリーズの内2回で「慢性腎臓病の食事療法の実際：総論」「慢性腎臓病の食事療法の実際：各論」を開催しています。                                | 開催回数 6回。参加人数 89名   | 資料メインの講義からパワーポイントを主とした講義に変更し、より具体的な内容を示すことで、自宅での食事療法の実践につながりやすくなった。  | ○          |
| 16  | 行 | 市立豊中病院 市民公開講座 ー糖尿病の基礎知識ー<br>コントで納得!!糖尿病 | 市立豊中病院糖尿病センター<br>保健企画課           | *   |         |             |             |             | ●           | ●           | ●           | 市立豊中病院糖尿病センターの糖尿病教室担当者である医師・コメディカルスタッフ全員で市民向けに寸劇等を交えた糖尿病の講演会を開催しました。その中で栄養士も食事についての寸劇・講演を行いました。 | 22年度で完了  | 医療従事者が病気と治療について市民に啓発することができました。  | 完          |
| 17  | 行 | とよなか倶楽部（糖尿病患者の会）                        | 市立豊中病院栄養管理部                      |     |         |             | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 糖尿病患者の会の一活動として、糖尿病食の講習及び調理実習を行い、糖尿病食への理解を深めています。  | 開催回数1回 参加人数21人   | 食事の作り方を解りやすく説明し調理講習。各国料理を取り入れ楽しみながら食事療法をできるよう工夫してきた。   | ○          |
| 18  | 行 | がん治療セミナー                                | 市立豊中病院緩和ケアチーム                    |     |         |             | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | がんサポートプログラム「がん治療セミナー」の一環として7回の内1回で「がんと食事の関係」について理解を深めています。                                      | 開催回数 2回。参加人数 28名   | 参加される患者さんごとに掘り下げるテーマを変更、職種連携で講義行うなど患者さんの要望を取り入れ内容変更を行っている。<br>がん治療と食事に関する関心が高く多くの患者・家族の参加があります。また、医師・看護師にも質問できるため好評。 | ○          |

## II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

### d. 調理技術や食に関する知識の習得

| 事業等 |                   | 所管             | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|-------------------|----------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|---|------------|
| 1   | 行 出前講座            | 広報広聴課          |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 市民（団体）や学校等が主催する、食育や生活習慣病の予防（食事編）に関する講座に、講師（市職員）を派遣しています。申込制。  | 年間講座実施数 184 件、参加者数 6,387 人<br>うち食育関係テーマ 4 件、参加者数 127 人  | 継続実施で多数の市民に参加してもらった。  | ○          |
| 2   | 行 地域への食育推進        | 保健企画課          |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 食育への理解が進むよう、食育情報の提供や講師紹介、講師派遣を行っています。   | 随時、食育情報の提供や講師紹介等を行いました。   | 食育情報の提供などで食育推進の環境整備を行いました。  | ○          |
| 3   | 行 出前教室            | 上下水道局<br>サービス課 |     |         |             | ●           |             |             |             |             | 小学4年生及びその保護者を対象に、水道水ができるまでの過程や、各家庭に水道水が配られる仕組みなどを、簡単な実験を行いながら説明します。<br>食の原点となる「水」への関心を深め、水道水が安全な飲み物であることを理解してもらうことがねらいです。 | 実施校数 40 校<br>参加者数 3,475 人（児童）<br>" 138 人（保護者）   | 食の原点となる「水」への関心と、水道水が安全な飲み物であることを理解してもらうことができ、毎年度実施校数も増えています。                          | ○          |
| 4   | 行 中央公民館<br>食育推進事業 | 中央公民館          |     |         |             | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。  | 年間5回<br>①高校生とクリスマスツリーケーキをつくってレッツパーティ！12月19日（月）参加人数20人<br>②おかしのおいえをつくろう12月17日（土）参加人数18人<br>③子育て広場「乳幼児の『歯』について」6月14日（火）参加人数34人<br>④高校生とおやつをつくってたべちゃおう！…だけど、たべたらみがく、おやくそく♪8月22日（月）参加人数16人<br>⑤子育て広場「乳幼児の『食』について」10月11日（火）参加人数50人 | 「市民自らが食に関する正しい知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる」を目標に、各年齢別の食育講座などを開催する事により、講座参加者の意識の向上に努めます。 | ○          |

| 事業等 |   |                 | 所管                   | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|-----------------|----------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|---|--|------------|
| 5   | 行 | 蛭池公民館<br>食育推進事業 | 蛭池公民館                |     |         | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | 食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。                                 | 年間5回<br>①ほたる発・世界へ タイランド・いろいろ話 5月21日(土) 参加人数16人<br>②低カロリーでもボリューム満点5月26日(木) 参加人数10人<br>③乳製品を使った和食料理教室 11月7日 参加人数22人<br>④ほたる発・世界へ メキシコ生活・いろいろ話 11月19日(土) 参加人数22人<br>⑤ほたる発・世界へ バングラデシュ・いろいろ話 3月17日(土) 21人 | 食育推進の5つの目標のいずれかに合致する内容で行ってきました。参加者の食育への関心も少しずつ広がってきたと考えます。   | ○          |
| 6   | 行 | 庄内公民館<br>食育推進事業 | 庄内公民館                |     |         | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | 食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。                                 | 年間2回<br>①男の料理教室『手軽に買える「秋鯖」のフルコースに挑戦』10/22(土) 参加人数 15人<br>②手打ち讃岐うどんに挑戦 12/18(日) 参加人数 13人   | 定員を超える申込みもあり、殆どの参加者に楽しんでいただいているという意味では成果があげられていると思われます。ただ、講座で体得した技能や知識を日常生活に活かされているかなれば定かではありません。日常生活のなかで即簡単に、継続的に活用できるようなものを盛り込むことが課題であると思われます。 | ◎          |
| 7   | 地 | 男の生活力養成講座       | とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ |     |         |         |         |         |         | ●       | ●       | 団塊の世代の男性を主な対象とする、自己実現と食の自立を始めとした生活力の養成をめざす講座を開催しています。                    | なし  | 男の料理を通して、団塊世代の定年退職後の生き方、パートナーとのよりよい関係づくりを提案しました。   | ◎          |
| 8   | 地 | 男の料理教室          | とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ |     |         | ●       |         |         |         | ●       | ●       | 父親と子どもの料理教室を開催しています。親子と一緒に料理をつくることで料理の楽しみと健康への関心を深め、男性の育児参加、家事参加を呼びかけます。 | イクメンと食育をテーマに、講座「パパと一緒にカレーナンづくり」を実施しました。定員を越える申込みがありました。<br>事業回数：1回<br>参加人数：父と子ども 19組 38名  | 父と子の料理教室は毎回参加者が多い人気講座です。子どもと一緒に楽しく料理することで、父親の家事、育児への参加意欲を高めました。  | ◎          |

| 事業等 |              | 所管                        | 新規* | 妊娠期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|--------------|---------------------------|-----|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|---|---|------------|
| 9   | 地 男性の料理教室    | 社会福祉協議会                   |     |     |         |         |         | ●       | ●       | ●       | 男性の食育や自立を目的に実施しています。                                     | 校区福祉委員会が独自に実施   | 男性の食への興味の高さがうかがえる。  | ○          |
| 10  | 地 食育に関する講習会  | 老人クラブ連合会                  |     |     |         |         |         |         |         | ●       | 講師を招いて講習会を開催し、食育に関して学ぶ機会をつくっています。                        | 実施中   | 低栄養の予防や口腔機能の維持向上について会員が学び、高齢者自らが食育に取り組むきっかけづくりができました。             | ◎          |
| 11  | 地 料理教室       | 老人クラブ連合会                  |     |     |         |         |         |         |         | ●       | 高齢者対象の料理教室を老人会各地区で実施しています。                               | 実施中   | 調理技術を身に付けることで健康寿命の延伸をめざしました。                                      | ○          |
| 12  | 地 各種の食に関する講座 | 豊中地域活動栄養士会トゥデイ            |     | ●   | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | 様々な年代を対象にした食に関する講座を通して、健康づくりの支援と食に関する情報提供を行い、食育を推進しています。 | くらしかんグループ活動、幼児の保護者、公民館、小学生、中学校、地域の会食会、市民健康展等で講演や料理教室等で食育を実施しました。101回、869名 | 「元気な食卓」幼児食の継続や市及び公的機関等からの講座や料理教室等の依頼が増え活動量が多くなり幅広い年代層への食育の増進ができた。 | ◎          |
| 13  | 地 料理教室       | とよなか消費者協会<br>豊中市小売商業団体連合会 |     |     |         |         |         | ●       | ●       | ●       | 共催で料理講習会を開催しています。  | 3月16日(金)料理教室「春の食材を使って楽しむ家庭料理」   | 市民に向けた食に関する情報を発信する場として活用しています。                                    | ○          |

## II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

### e. 適切な食を提供するための環境整備

| 事業等 |                         | 所管    | 新規* | 妊娠期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況                                     | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|-------------------------|-------|-----|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---|--|---|------------|
| 1   | 行 給食施設への食育推進支援          | 保健企画課 |     | ●   | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ①給食施設における喫食者に対する食育推進を支援しています。<br>②豊中集団給食研究会の運営を支援しています                    | 幼稚園・保育所・事業所・社会福祉施設等に給食管理・喫食者への食育推進の助言を行いました。 | 大阪府時代には給食から発信する健康づくりの充実を目指して、給食管理等のサポートを行いました。市保健所として今後も給食施設への支援は継続します。 | ◎          |
| 2   | 行 学校・保育所・幼稚園・保護者等への食育推進 | 保健企画課 |     |     | ●       | ●       |         |         |         |         | ①食育情報を提供しています。②食育授業への助言をしています。③指導教材の紹介をしています。④講師紹介をしています。⑤食育体験学習先紹介しています。 | 地域の乳幼児と保護者に「食育の話」を実施しました。                    | 指導教材の貸し出しなどで食育推進の環境整備を行いました。  | 完          |

| 事業等 |   | 所管                | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|-------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|--|------------|
| 3   | 行 | 食育指導者研修会          |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 学校・幼稚園・保育所関係者、給食関係者、食ボランティア、健康づくり関係者などを対象に、食育に関するライフスキルを育む手法など食育実践に役立つ、指導者のための研修会を開催しています。  | KARADA 元気セミナーの指導者育成研修を行いました。  | 指導者を対象に研修会を開催することで食育推進の環境整備を行いました。                           | 完          |
| 4   | 行 | 地域活動栄養士の育成・支援     |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 保健所が進める食育に、地域活動栄養士会トゥディの食育活動を連動させ、活動についての助言や情報提供、指導媒体の開発支援、活動先の紹介を行っています。   | 年間を通して、豊中地域活動栄養士会トゥディの活動支援を行いました。                                     | 地域の食育推進の担い手として、地域活動栄養士の育成・支援を行いました。                          | 完          |
| 5   | 行 | 子どもの健康づくりネットワーク会議 |     | ●       | ●           | ●           |             |             |             |             | 食育を通じた子どもの健康づくりを目的に、関係機関が集まりそれぞれの機関が食育として何が出来るか、連携して何が出来るかを話し合っています。構成員は教育委員会、学校給食関係者、健康づくり関係部局、地域活動栄養士会、子どもの食を考える会、健康づくり推進委員会、花と緑のネットなどの代表者です。 | 2回開催<br>様々な関係機関で実施している食育情報交換および小学5・6年生対象のメニューコンテストへの実施協力を行いました。       | この会議により立ち上げた小学生メニューコンテストは児童の食育推進の一助となりました。                   | 完          |
| 6   | 行 | 健康づくり推進委員会への支援    |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 活動への交付金の支払、講師派遣、活動情報の提供などを行っています。   | 地域での活動のヒントになるよう、市の食育事業（食の育みフォーラム等）を会の集まりで紹介しました。また、健康教室などを地域で開催しています。 | 機会あるごとに情報提供を行いました。   | ○          |
| 7   | 行 | 子育てサークルの育成        |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 「ほっぺクラブ」は地域の人材を活用し子育てボランティアの育成・支援を行い、その力を地域に広げています。   | ほっぺのおやつ講座開催年2回  | ボランティアグループ「オーリーブの会」がほっぺおやつ講座の内容を考え実施してづくりおやつの重要性を地域に発信しています。 | ○          |
| 8   | 行 | 子育て・子育てネットワークづくり  |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 地域子育て支援センター、地域支援保育士が中心になってコミュニティーソーシャルワーカーとともに各小学校区の地域活動を支援するために、関係機関や団体との連携を図りネットワークづくりを進めています。  | 平成23年度校区連絡会開催回数<br>38回  | 地域への子育て支援の内容を情報交換しながら、地域ごとのニーズの把握に努め校区マップの作成を行っています。         | ○          |
| 9   | 行 | 地域教育協議会（すこやかネット）  |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 市内全中学校区に設置されている地域教育協議会に対して、市が取り組んでいる子どもにかかる事業の情報の提供や、豊中市内全中学校区地域教育協議会の「交流会」「連絡会」の実施や拠点の整備についての支援を行っています。  | 連絡会の開催4回<br>（各中学校区代表者）<br>全体交流会の開催1回（221人）                            | 各校区での取り組みについての情報共有や、市の取り組みについての情報発信の場として、活用してきました。           | ○          |

| 事業等 |   |                | 所管                               | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|----------------|----------------------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|--|---|------------|
| 10  | 行 | 公民館登録グループ活動支援  | 中央公民館<br>蛸池公民館<br>庄内公民館<br>千里公民館 |     |         |         | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ①料理グループなどに活動場所の確保を行っています。<br>②グループ活動成果の社会還元として、グループ体験講習会への支援および公民館講座への講師登用を行っています。   | 登録グループが行う食と健康にかかわる料理講習会の支援を行った。  | 市民の自発的な学びの場を提供してきたことは、食育に対する市民の実践の効果が高まったと思われます。  | ○          |
| 11  | 地 | 男女共同参画推進活動への支援 | とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ             |     | ●       |         |         | ●       | ●       | ●       | ●       | グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、すてっぷ登録団体助成金交付、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。 | 韓国語講座の一環として、韓国料理を通して韓国の食文化を学び、韓国の女性の暮らしについて考えました。<br>・事業回数：6回 参加人数：60人                                   | 男女共同参画を推進する市民活動を協賛事業として支援し、実施に必要な施設を提供し、広報協力を行ってきました。「働く母の料理」「料理を通して韓国女性の暮らしを知る」などをテーマに、市民のエンパワーメントを図ることができました。 | ◎          |
| 12  | 教 | 技能員研究会         | 保育幼稚園室                           |     |         | ●       |         |         |         |         |         | 保育所・あゆみ学園・しいの実学園の技能職員と担当保育所長及び保育幼稚園室栄養士が、給食作りを中心に食育と給食衛生を考える。保育における子どもの安全と環境整備を考え、環境保全・食育に関わる研究の推進をはかっています。                        | 研究会7回開催（内1回は給食衛生講習会）前年度5グループに別れてテーマを決めて勉強し、資料作成（離乳食・食物アレルギー・食に関するおたより・掲示物・ゴミの分別・食育カレンダー）したものを実際に使用し論議した。 | こどもがおかれている現状をふまえてどのように関わっていくかを検討し、資料の更新や食育の考え方をより深める。   | ○          |
| 13  | 教 | 職員への教育         | 豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園                 |     |         | ●       |         |         |         |         |         | 職員が終礼時に、給食献立に関連する栄養・文化・歴史等について調べ発表しています。   | ○食育について関心が向いているので保育の内容にも取り入れるよう考慮しています。<br>○職員会議で常に給食の指導、アレルギーの対応安全管理など話し合っている。                          | 研修会で学んだことを記録し、そのレポートを回覧し情報の共有が行えた。  | ○          |
| 14  | 地 | 豊中市学校歯科医会 研修会  | 豊中市学校歯科医会                        |     |         | ●       | ●       |         |         |         |         | 幼・少年期のさらなる健康増進に寄与するため、学校歯科医師が学校保健活動でより良い指導・助言を行うのに必要な研修を行っている。食育についても取り上げています。   | 小学校歯科校医を講師として招き講演会を実施。   | 多数の受講者に参加して頂いた。   | ○          |

### Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう

#### a. 交流を深める場や食事をする機会の提供

| 事業等 |   |                   | 所管                      | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高齢期 | 内容   | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価  | 今後の方向性 |
|-----|---|-------------------|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|---|--------|
| 1   | 行 | お菓子づくり教室          | 豊中人権まちづくりセンター           |     |     |     | ●   |     |     |     |     | 食育に関し季節にあった食材を使いながらお菓子をつくり、調理の楽しみを体験しています。また、グループの参加者がお互いに協力しあって作業をすることでつながりづくりのきっかけとしています。  | からだによいもの、季節のものを意識して、材料を用意し、お菓子を作りました。また、講師には、素材について解説をしてもらい、栄養についても知る機会になりました。<br>実施回数 10回 参加者数 156人 | 講師と連携して、“おいしいのはあたりまえ、からだによいお菓子”というコンセプトのもと、素材の栄養や旬のものを大切にせずすめました。高学年対象ですが、人気が高く、リピーターも多くありました。      | ○      |
| 2   | 行 | ささえあい参加型食事会       | 豊中人権まちづくりセンター           |     |     |     |     |     |     | ●   | ●   | 園芸ボランティアが育てた老人憩の家の作物や身近な食材で成人病予防等健康管理・高齢者等の食事に配慮した調理ボランティアによる調理を学び皆で会食しています。   | 実施回数 20回<br>参加者数 747人  | 月2回の会食を楽しみながら、調理ボランティアと地域の高齢者の交流の場となっており、今後も継続の必要があります。   | ○      |
| 3   | 行 | 高校生とクッキング         | 保健企画課                   | *   |     |     |     | ●   |     |     | ●   | 「いきいきシニアのためのお口の健康づくりハンドブック」に掲載しているよく噛めるメニューを考案した桜塚高校の家庭科部員と高齢者が一緒に調理をして共に食べる事業を開催。お口の健康づくりハンドブックを使ったミニ講話とDVDをつかったごっくんにつこり体操も一緒に体験。   | 22年度で完了  | 食を通じた世代間交流の機会となりました。  | 完      |
| 4   | 教 | 保育、教育の中で交流体験機会の提供 | 各保育所・園、幼稚園、保育幼稚園室、小学校   |     |     | ●   | ●   |     |     |     |     | ①野菜や稲の栽培、収穫物による調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。<br>②もちつき等の季節行事を催しています。<br>③保護者に、実施状況を報告したり、参加・協力の場を設けることで、家庭への情報発信及び食文化の伝達や交流を行っています。 | 随時実施   | 食に関わる様々な体験を共有することで子どもと子ども、子どもと大人、大人と大人など人と人がつながっていける子どもの姿から親子の会話も食に関する話題が多くなり家庭においても「食」への理解が深まりました。 | ◎      |
| 5   | 地 | 世代間交流             | 社会福祉協議会、校区福祉委員会、民生・児童委員 |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、もちつき、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施しています。  | 168回<br>参加者数 23,752人   | 各校区で地域にあわせた特色豊かな取組を実施。  | ○      |
| 6   | 地 | ひとり暮らし高齢者の会食会     | 社会福祉協議会、校区福祉委員会         |     |     |     |     |     |     |     | ●   | みんなで会食をすることで、孤立感を防ぎ、仲間作りを行っています。   | 36校区で開催<br>年回数 344回<br>延べ参加者数 12,074人  | 校区独自に工夫をこらし、参加者に好評を得ている。  | ○      |

| 事業等 |   |          | 所管                  | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高齢期 | 内容  | 23年度実施状況                            | 5年間の総合評価                             | 今後の方向性 |
|-----|---|----------|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|-------------------------------------|--------------------------------------|--------|
| 7   | 地 | ミニデイサービス | 社会福祉協議会、<br>校区福祉委員会 |     |     |     |     |     |     |     |     | ●<br>虚弱高齢者を対象に手作りミニデイサービスを実施しています。食育に関する相談も行なっています。   | 6校区で開催<br>年回数 102回<br>延べ参加者数 1,885人 | 地域で定着している。                           | ○      |
| 8   | 地 | 小学校との交流  | 老人クラブ連合会            |     |     |     | ●   |     |     |     |     | ●<br>蛭池小学校花壇に野菜や花を植えて学習の教材として提供しています。じゃがいも、さつまいも堀りを児童の皆様にしていただいています。毎年8月には「終戦記念日」前後に当時をしのいで「すいとん」を作り、500人分を用意します。中身のなす、じゅうはちささげ、ねぎ等は学校花壇の畑で出来た野菜を使用します。 | 実施中                                 | 児童の身近な場所で野菜や花を育て、交流を深めながら食育活動を行えました。 | ○      |

### Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう

#### b. 楽しい食事の促進

| 事業等 |   |                      | 所管      | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高齢期 | 内容   | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価   | 今後の方向性 |
|-----|---|----------------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|--------|
| 1   | 行 | 地域教育協議会<br>(すこやかネット) | 地域教育振興室 |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 各中学校区地域教育協議会へ委託。中学校区を単位として、様々な世代が関わりながら、料理講座や食育をテーマにした講演会等を開催し、世代をつなぐ事業を展開しています。 | 中学校区を単位として、講演会やフェスタの中で食につながる取組みを行いました。                       | 料理教室が定着している校区や、食にまつわる行事が増えている校区があり、各地域での関心の高まりが感じられます。 | ○      |
| 2   | 行 | 地域子ども教室              | 地域教育振興室 |     |     |     | ●   |     |     |     |     | 各小学校区地域子ども教室へ委託。小学校区を単位として、子どもが地域の大人から料理やマナーなど、様々なことを交流しながら学んでいます。               | 小学校区を単位として、子どもが地域の大人から料理や食文化についての講義を受けるなど、様々なことを交流しながら学びました。 | 食文化やマナー、食の安全など、子どもたちへの啓発に一定の効果がありました。                  | ○      |



| 事業等 |   |                       | 所管     | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高年期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の方向性 |
|-----|---|-----------------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|---|---|--------|
| 3   | 行 | 青少年野外活動事業             | 青少年育成課 |     |     |     | ●   | ●   |     |     |     | <p>共同で野外活動をする中で食事を通じた交流を行っています。NPO 法人豊中市青少年野外活動協会に委託<br/>(キャンプ名：対象学年)</p> <p>①自由研究キャンプ (小学3、4年)<br/>②ジュニアサマーキャンプ (小学5、6年)<br/>③サイエンスキャンプ (小学3、4年)<br/>④ファミリーキャンプ (小学生とその家族)<br/>⑤キャンピングスクール (小学3、4年)<br/>⑥サイクリング (中学生)</p> | <p>共同で野外活動をする中で食事を通じた交流を行いました。<br/>(キャンプ名：参加人数)</p> <p>①ジュニアサマーキャンプ：22人<br/>②サイエンスキャンプ：32人<br/>③ファミリーキャンプ：69人<br/>④キャンピングスクール：39人<br/>⑤サイクリング：15人</p>   | <p>多数の応募があり、夏の定例事業として定着しています。食事の前の歌や準備など一緒に活動することで交流がよく行われています。</p>                 | ○      |
| 4   | 行 | 青少年自然の家主催事業<br>(宿泊事業) | 青少年育成課 |     |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | <p>小学生を対象とした野外活動事業を実施。竹で作った食器(箸、コップ)を使用したり、バームクーヘン作りを子どもたちで話し合っって企画したりしています。<br/>また、日帰りで気軽に野外での創作活動、自然体験活動に参加できる事業を実施。冷蔵庫を使わないアイスクリーム作りや、たき火料理を行いました。</p>  | <p>【宿泊事業】<br/>内容を変えて、年に5回実施。(4月・6月・10月・12月×2)<br/>4月：22人(野草に関する行事)、6月：43人(ホテルに関する行事)、10月：61人(ハロウィン行事)、12月①：155人(星空観察行事)<br/>12月②：50人(クリスマス行事)</p> <p>【日帰り事業】<br/>内容を変えて、年に2回(5月と11月)実施。<br/>薪割り体験と、割った薪を使ったたき火料理等を行いました。<br/>4月：142人(施設のオープン事業)、11月：180人(施設のオープン事業)、1月：43人(餅つき事業)、2月①：47人(節分事業)、2月②：69人(施設のオープン事業)<br/>3月：91人(ひな祭り事業)</p> | <p>○野外での食事を含んだ「生活体験」は好評でした。<br/>○気軽に参加できる日帰り事業として定着してきています。今後も積極的に継続したいと考えています。</p> | ◎      |

| 事業等 |   |                             | 所管     | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高年期 | 内容  | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の方向性 |
|-----|---|-----------------------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|---|--------|
| 5   | 行 | 三世代交流事業                     | 青少年育成課 |     |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | シニアの方に教えてもらい、野外で実際に野草を採って調理して食べました。協働事業として NPO 法人シニア自然大学校、高齢者支援課と共催 | 参加人数（小学生と家族のみの数）<br>①57人：春の野山は楽しいな<br>②61人：初夏の里山で昆虫と遊ぼう<br>③56人：みんなで楽しく川遊び<br>④46人：秋空のもとみんなで遊ぼう | 小学生とその家族、そしておむね 60 歳以上のシニアの方との食事を通しての交流が図られています。  | ○      |
| 6   | 教 | 体験型食育推進事業<br>「わくわく食育プロジェクト」 | 教育推進室  |     |     | ●   | ●   |     |     |     |     | わくわく食育プロジェクト「幼小連携親子料理教室」「世界を食べよう親子料理教室」「お弁当づくり親子料理教室」の開催            | わくわく食育プロジェクト「幼小連携親子料理教室」3回 「世界を食べよう親子料理教室」8回 「お弁当づくり親子料理教室」4回開催                                 | 食育に関する情報を正しく理解し、親子でおいしく、楽しく食事することを大切にするため、家庭・地域・学校で連携して体験型食育に取り組むことが大切で、今後も継続の必要性があります。 | ○      |

### Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう

#### c. 食を通じた地域活性化の促進

| 事業等 |   |                          | 所管           | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高齢期 | 内容   | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価   | 今後の方向性 |
|-----|---|--------------------------|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|--------|
| 1   | 地 | とよなかおやつ宣言                | 豊中市地域雇用創造協議会 | *   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 市内の和洋菓子、パン店のうち、地域貢献意欲の高いお店をPRする活動。市民に対しては地域のお店を知ってもらい、そのお店で買い物をすることで、間接的に地域貢献できる仕組み。 | 31店舗が参加して平成23年7月に事業開始。その後参加店が増加し、45店舗で活動した。<br>イベント出展（7回）、市内コンビニでのキャンペーン販売、スタンプラリー、ケーブルテレビ出演、広報ツール（ポスター、チラシ、マップ、看板、のぼり等）作成 | 事業開始初年であるが多数の市内店舗の協力が得られた。地域のために何かやりたいと思っているお店が多いことがわかった。イベントを通じて幅広い市民に地域に美味しいお店がたくさんあることを知ってもらう地域再発見につながった。 | ○      |
| 2   | 行 | 「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発 | 保健企画課        |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。   | 「うちのお店も健康づくり応援団の店」の駅前マップを作成し、飲食店の意識の向上をはかるとともに、イベントで市民への啓発を行いました。  | 大阪府全域で行う取り組みとして健康づくりを啓発する役割を担ってきたと考えています   | ◎      |

#### IV 食べる物、食べることを大切にしよう

##### a. 体験機会の充実

| 事業等 |                        | 所管                   | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|------------------------|----------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|--|---|------------|
| 1   | 行 施設見学                 | 広報広聴課                |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 市民団体等を対象に、学校給食センターや緑と食品のリサイクルプラザなどの見学にご案内しています。   | 年間実施数 2 件、総参加人数 27 人<br>うち給食センター0 件、計 0 人                                | 継続実施で多数の市民に参加してもらった。                                      | ○          |
| 2   | 行 収穫体験                 | 障害福祉課                |     |         |             |             | ●           | ●           | ●           |             | 市立障害者通所施設等の利用者が、野菜の収穫を体験します。  | 施設内の菜園等で野菜などの栽培や収穫体験を行ってきました。  | 食への関心を深める貴重な体験になっていると思われま                                 | ○          |
| 3   | 行 食育スタディーデー<br>みんなで収穫祭 | 保健予防課                |     |         |             | ●           |             | ●           | ●           |             | (NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 協力)<br>・緑と食品のリサイクルプラザ見学と「とよっぴー」製造の話<br>・収穫体験 (大根、白菜、かぶなど)<br>・収穫物をスタッフが調理したものを食べる | 1 回 64 人   | 参加者アンケートで、9 割以上が「とても楽しかった」回答しており、満足度の高い事業として実施できました。      | ○          |
| 4   | 行 市民農園                 | 農業委員会事務局             |     |         |             |             | ●           | ●           | ●           | ●           | ①募集から斡旋、契約事務<br>②苦情処理<br>③栽培講習会<br>④運営費助成事務等 ①～④の事業推進による農地の活用及び都市農業・食育の啓発をはかっています。                          | 1 区画約 15 ㎡を 23 か月利用<br>29 農園 1,217 区画                                    | 市民が余暇を楽しむ場として定着していますが、近隣とのトラブル等が増加し、市が時間を取られることが多くなっています。 | ○          |
| 5   | 行 農業祭                  | 農業委員会事務局、豊中市農業経営者協議会 |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 年 1 回 (11 月の第 3 土曜日)、農協等と実行委員会形式で実施しています。市内で栽培された野菜や観葉植物等の即売、もちつき大会等の実施による都市農業・食育の啓発を行っています。                | 11 月 19 日 (土) に会場を市民会館から豊島公園に移して実施しましたが、大雨のため来場者は激減しました。<br>参加人数 1,000 人 | 市民の豊中の農業に対する再認識の場となっています。                                 | ○          |
| 6   | 教 給食センターの見学 (市民向け)     | 学校給食室                |     |         |             |             |             | ●           | ●           | ●           | 給食センターの様子を見学し、学校給食への理解を深めています。  | 4 団体が見学  | 給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施していきます。                      | ○          |

| 事業等 |   |                   | 所管                                   | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高年期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の方向性 |
|-----|---|-------------------|--------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|---|---|--------|
| 7   | 教 | 保育、教育の中で交流体験機会の提供 | 豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園<br>豊中市民間保育園連合会加盟保育園 |     |     | ●   |     |     |     |     |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○農家と交流しています。</li> <li>○魚のさばき方の見学をしています。</li> <li>○年齢に合った調理体験・収穫体験を行っています。</li> <li>○季節行事：らっきょ漬・栗拾い・干柿づくり・収穫祭などを行っています。</li> <li>○茶道体験をしています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○随時実施</li> <li>○さつまいもなど野菜の栽培と収穫、もちつきを杵と臼でついて体験する</li> <li>○サンドイッチパーティー、おでんパーティーとん汁、カレーパーティー、クリスマスケーキづくりなどを行っています</li> <li>○保護者の農園活動対象のグリーンクラブ栽培活動を通して交流する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○栽培し成長の過程を知ることができ、興味をもつ様子が伺えた。</li> <li>○調理を経験することで家庭でも興味をもち積極的に手伝うこどもが増えたようです。</li> <li>○実りの喜びを園児たちに話し感謝祭の意味を共有している。</li> <li>○収穫したいちごを食べたり、さつまいもを調理してもらい、食べたりすることで自然の恵みに感謝することができた。</li> </ul> | ◎      |
| 8   | 地 | 自然と親しむ事業          | 社会福祉協議会、校区福祉委員会                      |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | いも掘り等の土に親しむ事業を全市的に実施しています。   | 23校区で開催<br>延べ参加者数 1,276人  | 様々な世代から多数参加がある。   | ○      |
| 9   | 地 | 市民レンゲまつり、野菜もぎとり園  | 市民レンゲまつり実行委員会<br>農業委員会事務局            |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 市民レンゲまつり会場で野菜のもぎとり園を実施し、市民に土に親しんでもらい、自らが収穫する楽しみと新鮮野菜を食する喜びを提供するとともに市民と農家との交流を図っています。   | 4月29日(祝)に実施<br>10,000人参加  | 都市化の進んだ当市において、自然とふれあう貴重な機会であり、市民に好評です。  | △      |

IV 食べる物、食べることを大切にしよう

b. 環境教育・環境学習の推進

| 事業等 |   | 所管                               | 新規* | 妊娠期 | 幼年期 | 少年期 | 青年期 | 壮年期 | 中年期 | 高年期 | 内容  | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価   | 今後の方向性 |
|-----|---|----------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|--|--|--------|
| 1   | 行 | 環境情報サロンにおける情報提供等業務               |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | (NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 に委託)<br>①環境関連の図書・雑誌の閲覧、インターネットを活用して環境関連情報の発信・提供・アドバイスなど。<br>②講座の開催。情報交流の場の提供。   | 来館者数 4,271 人   | 環境情報サロンにおいて、環境関連の図書・雑誌の閲覧、インターネットを活用した環境関連情報の発信・提供・アドバイス等を行ったほか、講座の開催や情報交流の場も提供しました。                     | ○      |
| 2   | 行 | とよなか市民環境展                        |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | (豊中市教委・とよなか市民環境会議・NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 と共催) 市民、事業者、行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場。概ね、12 月第 1 もしくは第 2 週に実施しています。   | 「すぐにはじめようーくらしの中のエコと安全ー」<br>参加者数 2,443 人                                      | 市民、事業者、行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場を設けた。平成 22 年度までは市民会館、H23 年度は豊島体育館で毎年 12 月上旬に開催しました。                     | ○      |
| 3   | 行 | 環境学習の推進                          |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ①平成 16 年 6 月 28 日設置した環境情報サロンの運営。<br>②交通環境学習の実施<br>③市民・事業者などが環境への理解を深め、環境に配慮した生活行動や事業活動を行うための支援。<br>④環境総合情報システムの学習情報の更新。<br>などを行っています。                     | 環境フォーラム 2011 の開催<br>参加者数 500 人<br>②クルマ大集合 2 校 5 年生 163 人<br>③各団体申請により出前講座を実施 | 毎年 9 月に環境フォーラムを実施し、講演会などにより市民・事業者の方へ環境に関する話題を提供しました。また園児・小学生を対象に施設見学やクルマ大集合、エコクイズ大会、市民の方を対象に出前講座を実施しました。 | ○      |
| 4   | 行 | 市民による環境活動への支援(豊中アジェンダ 21 の普及・促進) |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 「とよなか市民環境会議」の事務局として、ネットワーク組織としての活動、ならびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取組む環境活動の促進を支援します。また、「豊中アジェンダ 21」の推進組織である「NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21」が主体的に行う普及・啓発活動や実践活動を支援しています。 | とよなか市民環境会議総会の開催 参加者数：173 人<br>とよなかエコ市民表彰式の開催 参加者数：76 人                       | 「とよなか市民環境会議」の事務局として、総会の開催や環境活動の表彰を行ってきました。また、「豊中アジェンダ 21」の推進組織である「NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21」の活動の支援を行いました。 | ○      |
| 5   | 行 | 国連・持続可能な開発のための教育(ESD)の 10 年の取組み  |     | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | 庁内外に向けて ESD についての学習会・研修等を実施し、ESD の概念の周知とともに、各分野と連携・協働しながら、ESD の視点を取り入れた取組みを進めています。  | エコライフセミナー(4 回)<br>参加者：89 人<br>ESD リソースセンターweb による情報発信等                       | エコライフセミナーの開催や、ESD リソースセンターweb の運営を行うとともに、庁内外との関係団体・部署との定期的な情報交換を行いました。                                   | ○      |

| 事業等 |                        | 所管   | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|------------------------|--|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|--|------------|
| 6   | 行<br>生ごみ・剪定枝堆肥化事業      | 公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議 アジェンダ 21・花と緑のネットワーク |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | <p>①学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しに、公園や街路樹から出る剪定枝をチップ化したものを混合し堆肥化しています。できあがった堆肥（とよっぴー）は土壌改良材として、学校・保育所、市内などの農家、各種イベントなどで市民などに配布・頒布しています。</p> <p>②豊中市内の農家の協力をいただき、「とよっぴー」を使って育てた野菜などを地域で頒布したり、学校給食の食材に提供したりして、地産地消の取組みを行っています。</p> <p>③野菜の植え付け・収穫などの農体験学習及び小学校などに出向いて野菜づくりや資源循環などについて話をする環境教育を実施しています。</p> <p>④市内外からの堆肥化施設の見学者を受け入れています。</p> <p>⑤家庭での生ごみ発生抑制などを目的に、堆肥化講習会や野菜づくりについての講習会を実施しています。</p> | <p>①堆肥（とよっぴー）の配布・頒布：約121トン</p> <p>②野菜などの頒布：30回、2,248人</p> <p>学校給食への食材提供：55回、13種類</p> <p>③農体験学習及び講座型環境学習：64回、4,035人</p> <p>④見学・視察対応：31回、707人</p> <p>⑤堆肥化講習会及び野菜づくり講習会：24回、231人</p> | <p>①学校給食から出る生ごみ全量の堆肥化に成功し、活用場所への安定した供給に努められています。</p> <p>②頒布場所の増加や協力農家の増加に伴う納入品種の多様化、学校給食への玉ねぎの一斉納入などにより、頒布や納入実績は飛躍的に伸びています。</p> <p>③親子を対象とした体験型講座は安定して好評で、この数年は講座型学習の機会が増加しています。</p> <p>④市民の見学や行政の視察は減少傾向にありますが、学校等からの見学は安定した需要があります。</p> <p>⑤定期的な開催は、少人数ではありますが、密に参加者と話し合うことができ、好評を得ています。</p> | ○          |
| 7   | 行<br>エコクッキング           | 減量推進課  |     |         |             | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | <p>市民の皆さんの「もったいない」の意識を高め、食品ロス・ゼロに向けた取組みを推進します。具体的には、料理の際、食材をできる限り全て利用するエコクッキングを開催します。</p>   | <p>「親子でわくわくエコクッキング」と題し、親子で食育や「もったいない（食品ロス）」について考えてもらう、調理実習講座を開催しました。</p> <p>講座回数：1回 参加者：10組 23人</p>   | <p>平成20年度にエコクッキングを開催して以来、3年間実施できていませんでした。</p> <p>平成23年4月に「第3次豊中市一般廃棄物処理基本計画」を策定したことをきっかけに、エコクッキング（「もったいない（食べ残し・食品ロス）」について考える調理実習講座）を順次開催していくことができました。</p>  | ◎          |
| 8   | 教<br>公立保育所における環境食育推進事業 | 保育幼稚園室                                       |     |         | ●           |             |             |             |             |             | <p>①保育活動において、年間を通じて、ゴミの減量や堆肥作りを行い、併せて食育の推進について計画的に取り組んでいます。</p> <p>②関係部局・団体と連携を図り、他保育所及び保護者や地域の子育て家庭への情報提供を行っています。</p>  | 22年度で終了   | —  | 完          |

| 事業等 |   | 所管  | 新規*  | 妊娠<br>期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性  |
|-----|---|---|--|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|---|---|---|
| 9   | 教 | 環境食育推進年間計画の作成                                       |  |         | ●       |         |         |         |         |         | 保育活動において、ごみの減量や堆肥作りを行い、併せて食育の推進についての取り組みを、年間を通じて見直しをもったものにするため、年間計画を作成しています。                   | 22年度で終了   | —   | 完   |
| 10  | 教 | 保育、教育の中で食の循環に関する取り組み                                |  |         | ●       | ●       |         |         |         |         | 保育・教育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育てています。      | 季節折々の野菜（いちご、さつまいも）や稲の栽培を年間計画して実施。収穫したものを給食の食材に使用したり、飾って収穫祭を実施した。<br>ごみの分別をするように指導していますが、食の循環に関してはまだできていません。 | 堆肥作り菜園活動、収穫、クッキングと一連の体験をする中で「食を営む力」を育む基礎となる。<br>園の畑なので成長の過程を身近に感じることができた。                                   | ○   |
| 11  | 教 | とよっぴー（生ごみ・剪定枝堆肥）で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取り組み |  |         | ●       | ●       |         |         |         |         | とよっぴー（給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥）で作った市内農作物を給食で使用しています。  | 園では、玉ねぎを4回（400kg）を使用  | 市内の生産者と保育所がつながり、安心・安全な食の提供と地産地消の取り組みとして有効です。  | ○   |
|     |   |   | 学校給食室  |         |         | ●       | ●       |         |         |         | とよっぴー（給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥）で作った市内農作物を給食で使用しています。  | 全小学校 41校で実施   | 安心・安全な食の提供と地産地消の取り組みとして有効です。  | ○   |
| 12  | 地 | 豊中みどりの交流会   |  |         |         | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | 市民や市民団体との協働により、小学校、保育所や授産施設等でみどりのカーテンづくり（ゴーヤの栽培）の取組みを支援しています。収穫したゴーヤは、小学校などにおいて、食育として活用されています。 | 小学校 28校<br>保育所・授産施設等 27施設   | みどりのカーテンづくりに取組む小学校等の数が増加していることから、取組みに対する理解が得られているものと考えられます。   | ○   |
| 13  | 地 | 緑と食品のリサイクルプラザ運用事業                                   | NPO法人とよなか市民環境会議<br>アジェンダ 21・花と緑のネットワーク<br>公園みどり推進課 |         | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ①見学者に対する有機性資源循環の仕組みと食の重要性の啓発を行っています。<br>②「とよっぴー祭り」において、豊中産もち米を使用した餅つきや、いも掘り体験などを実施しています。       | ①見学・視察対応：31回、707人<br>②とよっぴー祭り参加者数：約900人   | ①学校等からの農体験と合わせた見学は安定した需要があり、目に見える形で堆肥の活用を理解していただいています。<br>②当初は2年に1度の開催でしたが、いも掘り体験を始め好評であるため、ここ数年は毎年開催しています。 | ○   |
|     |   |   |  |         |         | ●       | ●       |         | ●       | ●       |  | 親子や児童・生徒などに対し、「とよっぴー農園」において、野菜の植え付け・収穫などの食育体験活動の場を提供しています。  | 農体験学習：23回、1,044人  | 児童を対象とした農体験学習は定例化し、親子を対象としたシリーズ制の連続講座や収穫イベントは、都市で農業を学べるという点からも好評です。 |



| 事業等 |   |             | 所管  | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況                                   | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|-------------|---|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|--|--|------------|
| 14  | 地 | 堆肥化講習会      | NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワーク公園みどり推進課 |     |         |             |             |             | ●           | ●           | ●           | 家庭向け堆肥づくり講習会を行うことにより、生ごみの発生抑制、家庭菜園での堆肥活用を推進しています。(於：くらしかん・リサイクルプラザなど)   | 21回、205人                                   | 定期的な開催は、少人数ではありますが、密に参加者と話し合うことができ、好評を得ています。             | ○          |
| 15  | 地 | 野菜作り講習会     | NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワーク公園みどり推進課 |     |         |             |             |             | ●           | ●           | ●           | 有機性資源を活用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。(於：くらしかん)  | 3回、26人                                     | とよっぴーを活用した減農薬・有機性資源の講座等を開催することで、自産自消を推進し、食への関心も高めています。   | ○          |
| 16  | 地 | 出前講座        | NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワーク公園みどり推進課 |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 希望する小学校等に出向いて、主に4年生・5年生を対象に、次の講座を実施しています。<br>①学校菜園での米や野菜づくり体験への助言。<br>②米づくり・食品ごみ・地産地消などについて、発生抑制・資源循環の視点からの話。 | ①体験型出前講座：14回、919人<br>②講座型出前講座：27回、2,072人   | ①体験型講座は安定した需要があります。<br>②学校菜園での体験に合わせた講座型学習の機会が増加しています。   | ○          |
| 17  | 地 | とよっぴー倶楽部    | NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワーク         |     |         |             |             |             | ●           | ●           | ●           | 市の堆肥化事業の市民応援団を組織し、有機性資源の活用を推進しています。年会費1,000円で、主にとよっぴーの頒布日に受付けています。また、年4回のニュースレターを発行・郵送しています。                  | 会員数：63人                                    | 市の堆肥化事業を通して学校給食の現状や市内の農家の地産地消の取組みなどを知ってもらい、食への関心を高めています。 | ○          |
| 18  | 地 | 生ごみ堆肥化容器等助成 | NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワーク公園みどり推進課 |     |         |             |             |             | ●           | ●           | ●           | 家庭での生ごみの堆肥化活動を支援するため、堆肥化容器等の購入費の助成や資材などの提供をしています。   | ダンボール資材：22件、密閉バケツ：1件<br>コンポスター：1件、電動処理機：4件 | 気軽に取り組めるダンボール箱での堆肥づくりを中心に、継続して活動を支援しています。                | ○          |

IV 食べる物、食べることを大切にしよう

c. 地産地消の推進

| 事業等 |   | 所管                        | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|---------------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|---|--|------------|
| 1   | 行 | 豊中市農業経営者協議会との協働による都市農業の振興 |     |         |         |         | ●       | ●       | ●       | ●       | ①部会ごとに事業を実施しています。<br>○指導者部会—協議会の基本事項等について協議。<br>○研究部会—豊中まつり、農業祭において新鮮野菜を安価で販売。市民農園技術指導、農業講座等を実施。<br>○花卉部会—花卉の栽培技術の向上等の調査、研究を実施。<br>②上記事業を実施している協議会との連携・協働による地産地消の推進、都市農業・食育の啓発を行っています。 | 豊中まつり、農業祭における豊中産野菜の直売<br>学校給食副食用野菜の出荷<br>農業講座、農業先進地技術交換会の実施<br>市民農園の技術指導（平成23年度 14農園） | 地産地消の協力者が少しずつ増加しています。  | ○          |
| 2   | 地 | 地産地消バザー                   |     |         |         |         |         | ●       | ●       | ●       | 地産地消の推進を目的に、「生活情報ひろば事業」の一環として実施している地産地消バザーに参加しています。（於：くらしかん、第2水曜日）<br>また、単独での野菜などの頒布会（於：さわ病院、第4木曜日）や各種イベントでの頒布も行っています。   | 野菜などの頒布：30回、<br>2,248人  | 地場産野菜を提供していただける協力農家の増加に伴い、安全・安心な野菜を届ける頒布会も充実・定着し、消費者からは好評を得ています。 | ○          |
| 3   | 地 | 豊中産大根の試食                  |     | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | 農業祭で市民300人に大根炊きをして試食していただきました。   | 11月19日(土)豊島公園にて開催<br>大雨のため、来場者数1,000人   | 豊中産農産物の啓発とおいしく食べる喜びにつながる取り組みとを考えます。                              | ○          |
| 4   | 地 | 桜井谷あおぞら朝市                 |     | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | 桜井谷地域を中心にした地場野菜等を販売する朝市を毎月第1,3土曜日（7月、8月は毎週）午前9時（夏期は8時半）からJA大阪北部桜井谷支店駐車場で開催しています。   | 31回開催   | 地産地消の推進として、十分に成果は上がっています。  | ○          |

## V 歯や口の健康を維持・増進しよう

### a. 歯や口の健康づくりの推進

| 事業等 |   | 所管  | 新規*  | 妊娠<br>期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況   | 5年間の総合評価  | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|---|--|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---|--|---|------------|
| 1   | 行 | ①1歳8か月のぴかりちゃん歯科相談<br>②「2歳のにこりちゃん歯科健診」<br>③「パパ・ママ歯科相談」 | 保健予防課  |         | ●       |         | ●       | ●       |         |         | 1歳6か月児健診の結果ハイスクと判定された幼児とその保護者を対象に、個別相談や健診を、3会場で実施しています。「1歳8か月のぴかりちゃん歯科相談」と「2歳のにこりちゃん歯科健診」は効率性・利便性から統廃合し、名称を「にこりちゃん歯科健診」に変更しました。 | ①②1歳8か月のぴかりちゃん歯科相談及び「2歳のにこりちゃん歯科健診」→「にこりちゃん歯科健診」<br>24回880人<br>③「パパ・ママ歯科相談」<br>22回186人 | う蝕が発生しやすい幼児とその保護者に、個別に健診・相談等の機会を提供した結果、受診者のう蝕発生の抑制と予防行動への動機づけとなりました。      | ○          |
| 2   | 行 | 歯科健診時の保健指導  | 保健予防課  |         | ●       |         | ●       | ●       |         |         | 歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行っています。  | 歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行いました。  | 受診者にとって健診が、歯科医師等に相談できる場、予防の知識を得られる機会となっています。                              | ○          |
| 3   | 教 | 歯科健診の実施   | 保育幼稚園室、<br>教育推進室<br>豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園         |         | ●       | ●       | ●       |         |         |         | 虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。   | 年1回(6月)実施  | お口の健康の維持・増進に努めた。虫歯の早期発見により子どもの健康増進に有効です。<br>検診結果を見て保護者も関心が高まっています。        | ○          |
| 4   | 教 | 歯みがき指導  | 豊中市民間保育園連合会加盟保育園、市立幼稚園・各保育所、豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園 |         |         | ●       |         |         |         |         | 昼食やおやつの後に行う年齢に応じた歯みがき指導を行っています。   | 随時実施<br>歯の衛生週間には虫歯や歯磨きについての指導を行いました。   | 磨き方を丁寧に指導することで自分から磨くようになったようです。歯みがきを習慣づけるために継続する必要があります。                  | ○          |
| 5   | 地 | お口の健康づくり講習会の普及  | 老人クラブ連合会                                     |         |         |         |         |         |         | ●       | お口の健康づくり「ごっくん・にっこり体操」の普及のためDVDの配布   | 実施中  | 老人憩いの家などの拠点にDVDをおき、老人クラブ連合会の集まりのある時にDVDを見ながら体操を行うなどして会員の口腔機能の維持向上につとめました。 | ◎          |
| 6   | 地 | 歯の保健巡回指導  | (一社)豊中市歯科医師会<br>豊中市学校歯科医会                    |         |         | ●       |         |         |         |         | 児童が歯の健康に関する知識と関心を持ち、歯の健康の維持と病気の予防を実践できる能力を身につけることを目的とし、歯科衛生士専門学校の協力のもと、2年サイクルで市立全小学校に保健巡回指導を実施しています。                            | 歯科衛生士専門学校4校により、22校にて実施。  | 今後も引き続き実施していきたい。  | ○          |

| 事業等 |                                    | 所管               | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容  | 23年度実施状況                 | 5年間の総合評価                                      | 今後の<br>方向性 |
|-----|------------------------------------|------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---|--------------------------|---|------------|
| 7   | 地<br>幼稚園・保育所歯磨指導                   | (一社)豊中市歯<br>科医師会 |     |         | ●       |         |         |         |         |         | (財)ライオン歯科衛生研究所のご協力のもと、豊中市内の幼稚園、保育所で歯磨指導を実施しています。          | 5園所にて、1,184人に実施。         | 例年30近い園所よりご応募を頂き、なかなかご希望に沿えない状況が続いています。       | ◎          |
| 8   | 地<br>発達障がい者・高次脳機能障がい者等8020運動推進特別事業 | (一社)豊中市歯<br>科医師会 | *   |         |         |         | ●       | ●       | ●       | ●       | 高次脳機能障がい者施設と連携し、施設職員への講話会、口腔ケア指導(事前研修)、入通所者への健診等(実地研修)を実施 | 講話会・事前研修 38名<br>実地研修 25名 | 施設職員の方にわかりやすく講義ができたが、具体的な症例の用意が必要など改善すべき点もあった | 完          |

## V 歯や口の健康を維持・増進しよう

### b. 歯や口の健康づくりの啓発

| 事業等 |  | 所管    | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼年<br>期 | 少年<br>期 | 青年<br>期 | 壮年<br>期 | 中年<br>期 | 高年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況  | 5年間の総合評価   | 今後の<br>方向性 |
|-----|--|-------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|---|--|------------|
| 1   | 行<br>マタニティーママのデンタル教室                     | 保健予防課 |     | ●       |         |         |         |         |         |         | 妊婦を対象に、歯科衛生士による妊娠期からのお口の健康づくりの話や、歯みがきとデンタルフロスの実習を行っています。隔月に1回。   | 年6回101人   | 受講者アンケートの結果、満足度は高く、正しい歯科保健行動の知識を得る機会となっています。                                     | ○          |
| 2   | 行<br>すくすくよい歯の教室                          | 保健予防課 |     |         | ●       |         |         |         |         |         | 乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発(講話・健診)。3会場を実施しています。予約制。13年度より内容を見直し、1回2日制に変更しましたが、15年度より、内容を維持しつつ、受講者の利便性を考え、1回1日制に変更しました。 | 年30回837人  | 乳幼児の健全な歯と口腔を育成するためのスタート時期であり、保護者の関心も高く、受講者には幼児期の口腔の問題を予防するための知識を得られる機会となっています。   | ○          |
| 3   | 行<br>高校生と作るお口の健康づくりパネルシアター(食育媒体作成プロジェクト) | 保健予防課 |     |         | ●       |         | ●       |         |         |         | 幼児を対象にしたお口の健康づくりパネルシアターを高校生が企画・作成し、高校の文化祭や幼児対象のイベントなどで高校生が幼児に歯科保健啓発活動を実施しました。(社)豊中市歯科医師会協力)                      | 作成は21年度で完了。引き続き希望者への型紙提供を行っていましたが23年度希望者は0件でした。           | 幼児向けの啓発媒体を、自ら考え作成したことで高校生自身への啓発にもなりました。絵人形はイベントで展示用としても活用され、型紙の希望者への配布も一定終了しました。 | △          |
| 4   | 行<br>いきいきシニアのためのお口の健康づくりハンドブック           | 地域保健課 | *   |         |         |         |         |         |         | ●       | 「食」を支えるお口の健康づくりに役立つ情報を提供しています。   | 老人会の協力を得ながらハンドブックを活用した歯科保健啓発活動を行いました。(老人会での教育5回、参加者計260名) | 平成22度に作成し配布を開始した結果、大きな反響があり、効果的な高年期への啓発となりました。                                   | ○          |

| 事業等 |   |               | 所管                        | 新規* | 妊娠<br>期 | 幼<br>年<br>期 | 少<br>年<br>期 | 青<br>年<br>期 | 壮<br>年<br>期 | 中<br>年<br>期 | 高<br>年<br>期 | 内容   | 23年度実施状況                  | 5年間の総合評価                                   | 今後の<br>方向性 |
|-----|---|---------------|---------------------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|---------------------------|--|------------|
| 5   | 地 | よい歯の集い        | (一社)豊中市歯科医師会<br>豊中市学校歯科医会 |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 口腔衛生の啓発を目的に、歯の衛生週間(6月4日～10日)中の土曜日に、小学校を会場に、啓発イベント、学校歯科医による講演、歯科医を講師とする特別授業参観等を実施。講演会では食育についても取り上げています。 | 蛍池小学校で実施。<br>総来場者数1,566人。 | 食育パネルの掲示などをより工夫し、さらなる食育啓発に努力していきたい。        | ◎          |
| 6   | 地 | よい歯の高齢者8020表彰 | (一社)豊中市歯科医師会              |     |         |             |             |             |             |             | ●           | 80才以上で20本以上歯のある市民を対象に公募。アクア文化ホールにて受賞者を一同に会し表彰式を開催しています。  | 185人を表彰。                  | 年々応募人数が増加しており、8020運動がひろく市民にひろまっていることを実感できた | ○          |
| 7   | 地 | よい歯のコンクール     | (一社)豊中市歯科医師会              |     |         | ●           |             |             |             |             |             | 大阪府主催の「全大阪よい歯のコンクール」の地区審査会を保健予防課と協力し、3歳半健診を受診した幼児と保護者を対象にコンクールを実施しています。                                | 地区代表1組、地区優良2組を選出。         | 中央審査会を突破し、全国大会へ出場された親子もおられ、大変喜ばしいことです      | ○          |
| 8   | 地 | 豊中市民健康展       | (一社)豊中市歯科医師会              |     | ●       | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | ●           | 豊中市医師会・薬剤師会とともに主催。歯科ブースでは歯科健診、歯磨指導、フッ素塗布、食育パネルの掲示などを実施しています。   | 歯科ブースでの総のべ来場者数は1,614名。    | 食育パネルの掲示などをより工夫し、さらなる食育啓発に努力していきたい。        | ◎          |

## 6. 数値目標

### 食育に関心を持っている人の増加

#### （「食育に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計）の増加

食育というものが一般化されつつあり、特に関心を持つという意識が薄らいできていますが、食育に対して積極的に関心を持つことが基本であるため、引き続き食育に関心を持っている人の増加を目標とします。

| 項目                 | 平成 23 年度<br>調査結果 | 目標値<br>(平成 29 年度) |
|--------------------|------------------|-------------------|
| 幼年期(0～5 歳)の保護者     | 87.2%            | 95.0%             |
| 少年期(6～14 歳)の保護者    | 82.1%            |                   |
| 青年・壮年・中年期(15～64 歳) | 66.6%            |                   |
| 高年期(65 歳以上)        | 67.0%            |                   |

### 災害時に活用できる保存食や飲料を備蓄していない人の減少

さまざまな災害時などにおいて、速やかに対応できるよう、非常食の他、家庭にある保存食・飲料をうまく活用できるような意識啓発を行い、災害時等の食料等の備蓄をしていない人の減少を目標に掲げます。

| 項目                 | 平成 23 年度<br>調査結果 | 目標値<br>(平成 29 年度) |
|--------------------|------------------|-------------------|
| 幼年期(0～5 歳)の保護者     | 61.5%            | 50%               |
| 少年期(6～14 歳)の保護者    | 57.6%            |                   |
| 青年・壮年・中年期(15～64 歳) | 60.3%            |                   |
| 高年期(65 歳以上)        | 57.8%            |                   |

（「保存食や飲料はあるが、災害用としては備蓄していない」+「まったく家庭に置いていない」の合計）

### 朝食を欠食する人の減少

健康的な生活リズムや生活習慣を確立するため、引き続き朝食を欠食する人の割合の減少を目標とします。

子どもはもちろんですが、成人においては、欠食率が上昇していることもあり、欠食率の減少をめざして進めていきます。

| 項目              | 平成 23 年度<br>調査結果 | 目標値<br>(平成 29 年度) |
|-----------------|------------------|-------------------|
| 少年期(6～14 歳)     | 1.4%             | 0.0%              |
| 青年期 男性(15～24 歳) | 6.9%             | 5.0%              |
| 壮年期 男性(25～44 歳) | 16.7%            | 10.0%             |

## 食事が楽しいと感じる人の増加

(食事が楽しいが「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」人の割合)の増加

食育というどうしても理想的な食生活などをめざしがちになり、食事を用意するのが大変といったイメージも持たれるようになる恐れがありますが、まずは食べるのが楽しい、おいしく食べるということが重要であるため、食事が楽しいと感じる人の増加を目標とします。

| 項目            | 平成 23 年度<br>調査結果 | 目標値<br>(平成 29 年度) |
|---------------|------------------|-------------------|
| 幼年期(0~5 歳)保護者 | 85.3%            | 90%               |
| 青年期(15~24 歳)  | 74.9%            | 80%               |
| 壮年期(25~44 歳)  | 80.0%            | 85%               |
| 中年期(45~64 歳)  | 75.9%            | 80%               |
| 高年期(65 歳以上)   | 59.4%            | 70%               |

## 食べ残しを減らす努力を必ずしている人の増加

計画策定時当初から比べると、食べ残しを減らす努力をしている人の割合は増加しているものの、目標値を達成できなかったことや、環境への配慮の高まりから、引き続き目標を掲げていきます。

| 項目                 | 平成 23 年度<br>調査結果 | 目標値<br>(平成 29 年度) |
|--------------------|------------------|-------------------|
| 青年・壮年・中年期(15~64 歳) | 57.3%            | 60%               |
| 高年期(65 歳以上)        | 50.9%            |                   |

## 自分で食事の準備をすることができる人の増加

(「買い物から調理までできる」人+「買ったお弁当やお総菜などで準備できる」人の合計)の増加

自分で作って食べることは、食生活への関心を高めたり、楽しく食べることにもつながります。そのため、男女・年齢を問わず、「買い物から調理までできる」あるいは「買ったお弁当やお総菜などで準備できる」といったように自分で食事の用意ができる人の増加を目標とします。

| 項目                 | 平成 23 年度<br>調査結果 | 目標値<br>(平成 29 年度) |
|--------------------|------------------|-------------------|
| 青年・壮年・中年期(15~64 歳) | 94.9%            | 95.0%             |
| 高年期(65 歳以上)        | 86.2%            | 90.0%             |

## 定期的な歯科検診を受けている人の増加

おいしく食べるためにも、歯や口の健康は重要ですが、前期計画においては、定期的な歯科検診を受けている人の割合は目標を達成できなかったため、引き続き目標を掲げていきます。

| 項目           | 平成 23 年度<br>調査結果 | 目標値<br>(平成 29 年度) |
|--------------|------------------|-------------------|
| 幼年期(0～5 歳)   | 48.1%            | 65.0%             |
| 青年期(15～24 歳) | 28.3%            | 35.0%             |
| 壮年期(25～44 歳) | 38.7%            | 45.0%             |
| 中年期(45～64 歳) | 43.9%            | 55.0%             |
| 高年期(65 歳以上)  | 52.3%            | 55.0%             |